

「中野区教育ビジョン(第3次)」の改定に伴う
 「中野区教育ビジョン(第3次)」の評価とアンケート結果について

教育委員会では、教育基本法に基づく区の教育振興基本計画である教育ビジョン(第3次)を平成29年5月に策定し、「一人ひとりの可能性を伸ばし、未来を切り拓く力を育む」という教育理念の実現に向けて、様々な取り組みを行ってきた。

この教育ビジョン(第3次)の計画期間は、平成29年度から令和8年度までの10年間であり、策定から概ね5年が経過することから、この間の教育を巡る状況の変化や事業の実施状況を踏まえるとともに、現教育ビジョンの総括評価を行い、次期教育ビジョンの素案に反映させる。

また、教育ビジョン(第3次)改定にあたり、区立幼稚園・保育園の保護者、区立小・中学校の児童・生徒及びその保護者を対象に、意見収集を行い、現教育ビジョンの達成状況を把握するとともに、将来に向けた意見等を、次期教育ビジョンの素案に反映させる。

1 「中野区教育ビジョン(第3次)」の評価

(1) 実施方法

例年実施している「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づく、教育事務の点検・評価に合わせて、外部評価を実施。

(2) 評価内容

別紙1のとおり

2 児童・生徒等に実施したアンケート結果について

(1) 実施対象者と回答数

- ①区立小学校・中学校の児童・生徒
- ②区立小学校・中学校の児童・生徒の保護者
- ③区立幼稚園・保育園の保護者

| | 学年 | 対象者数 | ①児童・生徒 | | ②児童・生徒保護者 | | ③園児保護者 | | | |
|-----|-----|--------|--------|-------|-----------|-------|--------|-----|-----|-----|
| | | | 回答数 | 回答率 | 回答数 | 回答率 | 対象者数 | 回答数 | 回答率 | |
| 小学校 | 1年生 | 1,912 | 295 | 15.4% | 445 | 23.3% | 幼稚園 | 142 | 57 | 40% |
| | 2年生 | 1,878 | 273 | 14.5% | 374 | 19.9% | 保育園 | 912 | 241 | 26% |
| | 3年生 | 1,752 | 338 | 19.3% | 334 | 19.1% | | | | |
| | 4年生 | 1,783 | 465 | 26.1% | 264 | 14.8% | | | | |
| | 5年生 | 1,668 | 325 | 19.5% | 260 | 15.6% | | | | |
| | 6年生 | 1,622 | 331 | 20.4% | 231 | 14.2% | | | | |
| | 計 | 10,615 | 2,027 | 19.1% | 1,908 | 18.0% | | | | |
| 中学校 | 1年生 | 1,177 | 176 | 15.0% | 122 | 10.4% | | | | |
| | 2年生 | 1,151 | 301 | 26.2% | 97 | 8.4% | | | | |
| | 3年生 | 1,120 | 183 | 16.3% | 100 | 8.9% | | | | |
| | 計 | 3,448 | 660 | 19.1% | 319 | 9.3% | | | | |

(2) 実施内容

①実施期間

令和4年7月14日～令和4年8月21日

②実施方法

Googleフォームのアンケートページから回答（無記名式）

(3) 結果の概要

別紙2～4のとおり

3 今後のスケジュール

| | |
|-------------|-------------------------|
| 令和4年10月～11月 | 教育ビジョン素案の検討・協議 |
| 令和5年 | 1月 教育ビジョン素案に関する意見交換会 |
| | 3月 教育ビジョン案の作成 |
| | 4月 教育ビジョン案のパブリック・コメント手続 |
| | 5月 新教育ビジョンの決定 |

中野区教育ビジョン（第3次）の評価について

【目標Ⅰ】人格形成の基礎となる幼児期の教育が充実し、子どもたちがすくすくと育っている

(1) 現行ビジョンにおける取組の柱

- 就学前教育の充実
- 家庭の教育力向上へ向けた支援
- 幼児期の特別支援教育の充実

(2) 成果指標

| 成果指標 | 幼児の発達をとらえた意図的・計画的な指導を行っていると感じている保護者の割合 | 策定時 (H27) | 指標結果 | | | | | 目標 | |
|------|---|--------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| | | | H29 | H30 | H31 | R2 | R3 | R2 | R7 |
| | | — | 96.5% | 96.6% | 96.4% | 96.1% | 99.3% | 98.0% | 100.0% |
| 成果指標 | 就学前の集団生活をとおして社会性の基礎が培われていると感じる児童の割合 (小学校1年生) | 策定時 (H27) | 指標結果 | | | | | 目標 | |
| | | | H29 | H30 | H31 | R2 | R3 | R2 | R7 |
| | | 87.2% | 85.5% | 79.0% | 86.5% | 85.2% | 80.2% | 89.0% | 92.0% |

(3) 目標Ⅰの総合評価

- 「就学前教育プログラム」を改訂し、理論編・実践編に分ける等内容を充実させた。関係保育園・幼稚園・小学校の教職員が一堂に会して公開保育・授業参観や協議会を実施し意見交換を行う等教育連携を図った。
- 策定した「保育の質ガイドライン」をもとに、研修を多数実施するほか、概要版リーフレットを作成して子育て家庭への普及啓発を行った。
- 子育て応援メールや、日々の子育てに活かせる運動遊び等のWEB動画を配信するなど、家庭の教育力向上へ向けた支援を行った。
- 保育ソーシャルワーカーを配置し、発達に課題のある園児への対応や養育相談を行い各保育施設への支援を進めた。

(4) 主な外部評価意見

- 小1 プロブレム等の課題への対応のため、幼児期における「保育の質ガイドライン」を踏まえた研修や実践演習が行われており、引き続き、「保育の質ガイドライン」が有効だということを広めてほしい。また、保育現場のフィードバックを受けながら、「保育の質のガイドライン」の内容を高めていくことが重要である。

○特別な配慮や支援が必要な子どもと、保護者をどうサポートするかが、幼少期においては大事である。保育ソーシャルワーカーだけに任せるのではなく、区あるいは教育委員会としても、様々なところと連携しながら、きめ細かい対応ができるかどうかが大変である。

(5) 今後の取組

- 「就学前教育プログラム」の積極的な活用、保育園・幼稚園と小学校との教育連携の推進
- 新型コロナウイルス感染症の影響、家庭や生活課題の多様化等を踏まえた育児支援の実施
- 早期からの保護者への特別支援教育に関する情報提供など理解促進、就学相談体制の充実、関連部署との連携

【目標Ⅱ】子どもたち一人ひとりが意欲的に学び、社会で生き抜くための確かな学力を身に付け、個性や可能性を伸ばしている

(1) 現行ビジョンにおける取組の柱

- 確かな学力の定着
- 理数教育の充実
- 外国語活動・英語教育の充実
- ICTを活用した学習指導の推進
- 小中連携教育の推進
- 教員の授業力向上
- 特別支援教育の理解促進
- 発達障害教育の推進
- 就学相談・発達段階に応じた支援体制の充実

(2) 成果指標

| 成果指標 | 児童・生徒の学力調査の結果 (全86項目のうち、7割以上の 児童・生徒が目標値を達成した 項目の割合) | 策定時 (H27) | 指標結果 | | | | | 目標 | |
|-------|--|--------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | R2 | R7 |
| | | 48.8% | 62.8% | 66.3% | 55.8% | 72.1% | 81.8% | 70.0% | 80.0% |
| 成果指標 | 「学校は特別支援教育や発達障 害等に関して保護者への説明を 行っている」と考える保護者の 割合 | 策定時 (H27) | 指標結果 | | | | | 目標 | |
| | | | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | R2 | R7 |
| | | 小学校 | 小 | 小 | 小 | 小 | 小 | | |
| | | 65.4% | 59.5% | 59.6% | 48.4% | 50.6% | 46.8% | 80.0% | 90.0% |
| 中学校 | 中 | 中 | 中 | 中 | 中 | | | | |
| 50.4% | 53.9% | 52.6% | 48.6% | 48.6% | 52.6% | | | | |

(3) 目標Ⅱの総合評価

- 中野区学力にかかわる調査において、学力調査項目（全86項目、令和3年度は44項目）のうち、7割以上の児童・生徒が目標値を達成した項目の割合は、中野区教育ビジョン（第3次）で掲げた成果目標である80.0%を上回る81.8%となった。令和3・4年度に新学習指導要領に対応した調査へ移行しており、今後は新しい学力観による評価が必要である。
- 学力向上検討委員会を設置し学力に関する課題や手だて、15年間を見通した系統的な指導について、保幼小中の代表者が協働して検討し、中間報告書をまとめ、各校へ周知した。
- 改定した特別支援教育のリーフレットを配布する他、すこやか福祉センター、区立療育センター、幼稚園・保育園等の就学前施設と連携した就学相談説明会を開催する等、早期から保護者に情報提供を行った。新型コロナウイルス感染症の影響で学校等での十分な説明の機会が減少したため、指標の結果は低く、目標値には達しなかった。

(4) 主な外部評価意見

- 目標にある子どもたち一人ひとりが意欲的に学び、社会で生き抜くための確かな学力を身に付けるために根本となるのは、生涯にわたる学びに向かう力を育てていくことや、個々の特

性に配慮しながら、児童・生徒が自ら学習の進め方を改善していくことができるよう指導・支援していくことが重要である。

○小学生科学展・中学校生徒理科研究発表会は、他校の子どもたちと切磋琢磨する等、子どもにとって良い機会であり、引き続き、多くの人がいろいろなところで目にするような機会を作っていただきたい。

○発達に課題のある児童・生徒に対して、切れ目のない支援が必要である。就学支援シートの活用について、学校、保護者、専門機関の協力を得ながら進めていくことが大事である。

(5) 今後の取組

○学力の定着（一人1台端末の効果的な活用、習熟度別少人数指導、小学校高学年の教科担任制、読書活動の充実、指導の個別化や学習の個性化）

○教員の指導力向上（マイスター研修制度の活用、教員一人ひとりの授業改善の支援）

○障害や特性に応じた指導・支援の充実（専門家が参画した判定会議の運営、「学校生活支援シート」の有効活用への理解促進）

【目標Ⅲ】 自他の生命や人権を尊重する教育が行われ、さまざまな体験活動を通じて、子どもたちの豊かな人間性・社会性が育っている

(1) 現行ビジョンにおける取組の柱

- 豊かな心を育む教育の充実
- 国際理解教育の推進
- いじめ・不登校対策の強化

(2) 成果指標

| | 策定時 (H27) | 指標結果 | | | | | 目標 | | |
|--------------------------------------|--|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | R2 | R7 | |
| 成果指標 | 「自分には、よいところがある」と答えた児童・生徒の割合 | 小学校 | 小 | 小 | 小 | 小 | 小 | 小 | 小 |
| | | 73.2% | 78.4% | 86.2% | 77.9% | 70.9% | 74.2% | 80.0% | 90.0% |
| | 中学校 | 中 | 中 | 中 | 中 | 中 | 中 | 中 | 中 |
| | | 66.1% | 67.3% | 78.4% | 71.5% | 74.4% | 76.4% | 70.0% | 80.0% |
| | 「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」と答えた児童・生徒の割合 | 小学校 | 小 | 小 | 小 | 小 | 小 | 小 | 小 |
| | | 49.9% | 48.3% | 56.8% | 57.3% | 54.5% | 50.8% | 65.0% | 80.0% |
| 中学校 | 中 | 中 | 中 | 中 | 中 | 中 | 中 | 中 | |
| | 38.9% | 37.7% | 41.6% | 42.4% | 49.0% | 47.7% | 55.0% | 70.0% | |
| 不登校児童・生徒の出現率（不登校児童・生徒の全児童・全生徒に占める割合） | 小学校 | 小 | 小 | 小 | 小 | 小 | 小 | 小 | |
| | - | 0.44% | 0.60% | 0.86% | 1.26% | 1.61% | - | - | |
| 中学校 | 中 | 中 | 中 | 中 | 中 | 中 | 中 | 中 | |
| - | 3.58% | 4.28% | 5.17% | 5.87% | 6.56% | - | - | | |

(3) 目標Ⅲの総合評価

- 生活指導の課題を見ると、人間関係に課題があるケースが増え、児童・生徒の各種意識調査における自己肯定感や自己有用感に関わる数値が7割程度となっている。
- 不登校傾向の児童・生徒に対する教育相談室での相談、フリーステップルームや北部・中部・南部の教育支援室分室での支援、学校や家庭を訪問しての巡回支援、SSWの支援など区の教育相談体制の基本的な環境を整え、多様なニーズに対応している。
- 各園・校が新しい生活様式における体験活動のあり方を模索し、実施方法を工夫して行うことができた。

(4) 主な外部評価意見

- いじめの発見は、学校の教員が子どもたちの変化にもよく目を向けており、一番実態を把握しやすく、それが成果につながっている。教育相談室と学校との連携が重要であり、教育相談室が「学校で言いづらいことも話せる場所」であることを広く保護者へ周知することが重要である。
- 様々な体験活動を通し、多面的・多角的に物事を見る見方を、子どもたちに身につけてほしい。また、生命や人権が尊重されるべきであることを実感できる教育が重要である。

(5) 今後の取組

- いじめの防止等に向けた体制の整備（いじめ防止等対策推進条例に基づく取組の推進）
- いじめや不登校のない学校づくりの推進（学校いじめ対策委員会や不登校担当教員の活動充実等）
- 関係機関（養護教諭、SC、SSW、教育相談室・支援室、医療機関等）につながっていない不登校傾向の児童・生徒への支援
- みらいステップなかのとの相談体制の連携強化と継続した相談支援体制の推進

【目標Ⅳ】子どもたちは健康の大切さを理解し、心身ともにたくましく育っている

(1) 現行ビジョンにおける取組の柱

- 健康の保持増進
- 体力・運動意欲の向上

(2) 成果指標

| 成果指標 | 生活習慣病健診結果における指導を要さない生徒の割合(中1) | 策定時(H27) | 指標結果 | | | | | 目標 | | |
|-------|--|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|----|
| | | | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | R2 | R7 | |
| | | 77.0% | 76.3% | 80.2% | 68.7% | 57.8% | 56.0% | 90.0% | 100.0% | |
| 成果指標 | 体力テストで目標(中野スタンダード)を7割以上の児童・生徒が達成した種目数(小6、中3) | 策定時(H27) | 指標結果 | | | | | 目標 | | |
| | | | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | R2 | R7 | |
| | | 小学校6年 | 小6 | 小6 |
| | | 8/16 | 12/16 | 11/16 | 9/16 | 10/16 | 11/16 | 12/16 | 16/16 | |
| 中学校3年 | 中3 | 中3 | 中3 | 中3 | 中3 | 中3 | 中3 | 中3 | | |
| 11/18 | 14/18 | 12/18 | 13/18 | 11/18 | 13/18 | 15/18 | 18/18 | | | |

(3) 目標Ⅳの総合評価

- 生活習慣病健診後、指導を要する生徒への適切な指導や医療機関への受診勧奨を行い、生活習慣の維持改善を図ったことにより、平成30年度には成果指標である指導を要さない生徒が約8割となった。しかし、新型コロナウイルス感染症のまん延が進んで以降、その割合は急下降し、令和3年にはおよそ半数の生徒が指導を要することとなった。
- 令和2年度に区立小学校で発生した学校給食における食中毒事故を受け、検討会にて初動対応目安を定め全校へ周知するとともに、必要な給食厨房備品を購入した。また、衛生管理徹底のため、教育委員会の栄養士による巡回指導を全校で実施した。
- 全区立保育園で「運動遊びプログラム」が定着し、小学校の体力向上プログラムにもつながった。また、体力テストの課題種目を明らかにし、あらゆる時間を活用して体力向上につながる活動に取り組んだ。これらを受け、成果指標である体力テストの種目の7割が「中野スタンダード7割以上」を達成したが、目標数値には届かなかった。

(4) 主な外部評価意見

- 新型コロナウイルス感染症の影響がある中における生き方や行動の仕方に対して、正しい知識を持って正しく行動する子どもを育てることが重要である。
- 学校給食のアレルギー対応については、たくさんの子どもたちに対してきめ細かく対応しており、引き続き、学校内でよく理解しておくことが大事である。命に関わることもあるという緊張感を忘れてはいけない。
- 運動遊びプログラムが定着し、小学校体力向上プログラムにつながっていることや、体力テストを通して体力向上につながる活動に取り組んでおり、さらに取組を進め、運動習慣を身につけてほしい。

(5) 今後の取組

- 生活習慣病健診への理解、関係機関と連携した啓発
- 給食室の施設整備の推進
- 給食アレルギー対応検討会の立ち上げ及びアレルギー対応の厳格化
- 各中学校区における体力や健康維持の取組の推進

【目標V】保幼小中の連携や家庭・地域との連携が進み、子どもたちは生き生きと学んでいる

(1) 現行ビジョンにおける取組の柱

- 保幼小中連携教育の推進
- 家庭・地域と連携した教育
- 子どもの安全対策の推進
- 開かれた学校経営

(2) 成果指標

| 成果指標 | 策定時 (H27) | 指標結果 | | | | | 目標 | |
|---|--------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| | | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | R2 | R7 |
| 「子どもが学校生活を楽しく過ごしている」と感じている保護者（小学生）の割合 | 93.8% | 94.8% | 92.4% | 92.0% | 91.2% | 92.2% | 96.0% | 100.0% |
| 「子どもが充実した学校生活を送っている」と感じている保護者（中学生）の割合 | 90.9% | 89.8% | 88.5% | 89.2% | 86.7% | 87.8% | 95.0% | 100.0% |
| 学校は、保護者や地域の意見や願望を受け止め、学校改善に生かそうとしている」と考える保護者の割合 | 75.1% | 75.3% | 74.3% | 65.2% | 65.3% | 68.0% | 80.0% | 90.0% |
| 「学校は、保幼小中連携教育のねらいや様子を、保護者に分かりやすく伝えている」と考える | 65.5% | 66.1% | 63.4% | 56.3% | 52.6% | 50.0% | 75.0% | — |

(3) 目標Vの総合評価

- 小中連携教育では、各中学校区での取組が周知され、成果が上がったものは、他の校区でも取り入れられた。
- 幼児・児童・生徒や教員にとっては、アプローチカリキュラム、スタートカリキュラム、オープンキャンパス、乗り入れ指導等、各中学校区での合同行事等の取組が定着し、保幼小中連携教育を推進してきた効果が表れていると言える。
- 新型コロナウイルス感染症の状況においても、保護者が分散して参観したり、オンラインで参観したりするなど学校の様子を知る機会を設けることができた。

(4) 主な外部評価意見

- 学校運営協議会等、全国的な名称・制度に単に後追いするのではなく、中野区がこれまで培ってきた学校と地域の連携をうまく生かして、中野らしいものを新しく作っていくといいのではないか。
- 「学校は、保護者や地域の意見等を、学校改善に生かそうとしている」保護者評価が低いことについて、保護者や地域とのコミュニケーションを増やして改善する必要がある。

(5) 今後の取組

- 保幼小中連携教育の充実（15年間を見通した学びの連続性（カリキュラム連携等）の推進）
- 地域と学校の連携・協働による地域学校協働活動の推進、学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）の導入に向けた取組の推進
- 部活動の地域移行へ向けた検討
- 登下校時の通学路の見守り活動等安全対策の強化

【目標VI】 地域における学習やスポーツが活発に行われ、活動をととしての社会参加が進んでいる

(1) 現行ビジョンにおける取組の柱

- 区民の生涯学習活動への支援
- スポーツ・健康づくりの推進

(2) 成果指標

| 成果指標 | なかの生涯学習大学卒業後に地域活動に参加したことがある人の割合 | 策定時 (H27) | 指標結果 | | | | | 目標 | |
|------|---------------------------------|--------------|-------|-------|-------|----|----|-------|-------|
| | | | H29 | H30 | H31 | R2 | R3 | R2 | R7 |
| | | 72.1% | 68.9% | 75.9% | 75.0% | — | — | 85.0% | 90.0% |

※成果をはかるためのアンケートについては、令和2年度及び3年度の実施は見送ったことから実績は「-」としている。

(3) 目標VIの総合評価

- 令和元年度まで増加傾向が続いたものの、近年は、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により多くの地域活動が休止・縮小している状況が続いたことから生涯学習大学の卒業生を地域活動につなげることが難しい局面にあった。

(4) 主な外部評価意見

- 生涯にわたって学ぶことで、学ぶ楽しさ、学びによる人との繋がりや地域の魅力を再発見するなど、自分自身の人生がより豊かになると思う。生涯学習という観点で、今行っている活動を含め様々な活動や取組をさらに充実させていってほしい。
- 生涯学習で中野区の歴史を学んだ方と学校が地域学習等で連携し、中野の持っている様々な歴史的文化的な財産を認識することにより、中野区の魅力の発見につながり、中野区を愛する好きになるきっかけとなるのではないかな。

(5) 今後の取組

- 生涯学習の機会の充実（多様な生涯学習機会の提供、ウェブサイト等を通じた情報発信の強化、）
- なかの生涯学習大学の入学促進及び魅力あるプログラムづくり

【目標Ⅶ】子どもから高齢者まですべての区民が文化や芸術に親しみ、生活の質を高め ている

(1) 現行ビジョンにおける取組の柱

- 文化芸術活動の支援
- 歴史文化・伝統文化の保護、継承
- 図書館機能の充実
- だれもが利用しやすい図書館の整備

(2) 成果指標

| 成果指標 | 策定時 (H27) | 指標結果 | | | | | 目標 | |
|--------------------------------|--------------|------------|------------|------------|----------|----------|------------|------------|
| | | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | R2 | R7 |
| 文化施設の利用者数 | 1,332,845人 | 1,233,847人 | 1,252,943人 | 1,235,249人 | 218,724人 | 435,524人 | 1,370,000人 | 1,400,000人 |
| 歴史民俗資料館年間入館者数 | 35,363人 | 35,114人 | 35,404人 | 18,018人 | 22,776人 | 25,962人 | 38,000人 | 40,000人 |
| 図書館は学びや課題解決に役立っていると感じている利用者の割合 | — | 92.0% | 80.5% | 80.3% | 84.6% | 78.8% | 90.0% | 100.0% |

(3) 目標Ⅶの総合評価

- 区内の複数の歴史的遺構が文化財に指定された。
- 区立図書館の事業等の改善や新規開設により平成29年度と比べ令和3年度の登録者は4,000人(7%)増加、図書の個人貸出数も40万冊(18%)増加、児童に関しても登録者数が1200人(13%)、貸出数も11万冊(25%)増加した。

(4) 主な外部評価意見

- 中野区に縁やゆかりのある人物や文化財などをさらに掘り起こし、区民のみならず多くの方に知ってもらえるよう広報することで、教育的な価値、文化的な価値としての活用が進むのではないかと。また、自分の地元で縁のある人物や文化財を知ることによって、親しみやすくなることと同時に誇りも持てるようになるのではないかと。
- 中野東図書館について、利用目的や利用対象者に応じたスペース配置の印象が良かった。各館でも、中野東図書館と同様に利用者の特性等に応じて整備を行ったらどうか。

(5) 今後の取組

- 区の文化財の修復・移築に向けた設計・工事や保存活用計画の策定
- 図書サービスの機能の強化
- 図書館の今後のあり方の検討
- 子どもや乳幼児親子の読書活動の推進

中野区教育ビジョン(第3次)改定に伴うアンケートの実施結果について
《児童・生徒》

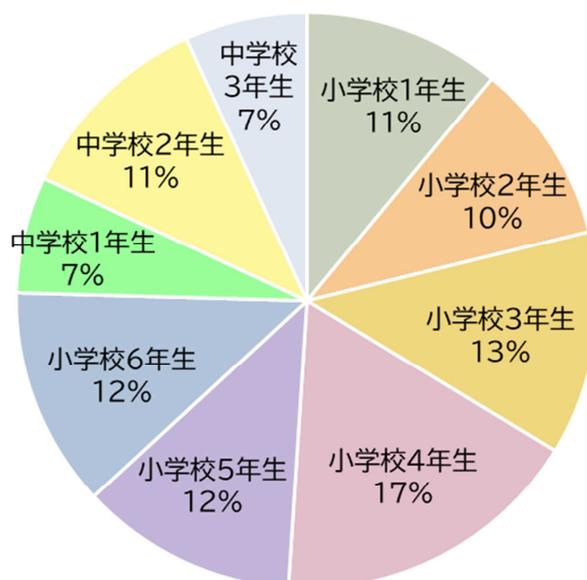
回答期間:令和4年7月14日~8月21日

回答方法:Google フォームのアンケートページから入力

回答数:2,687件

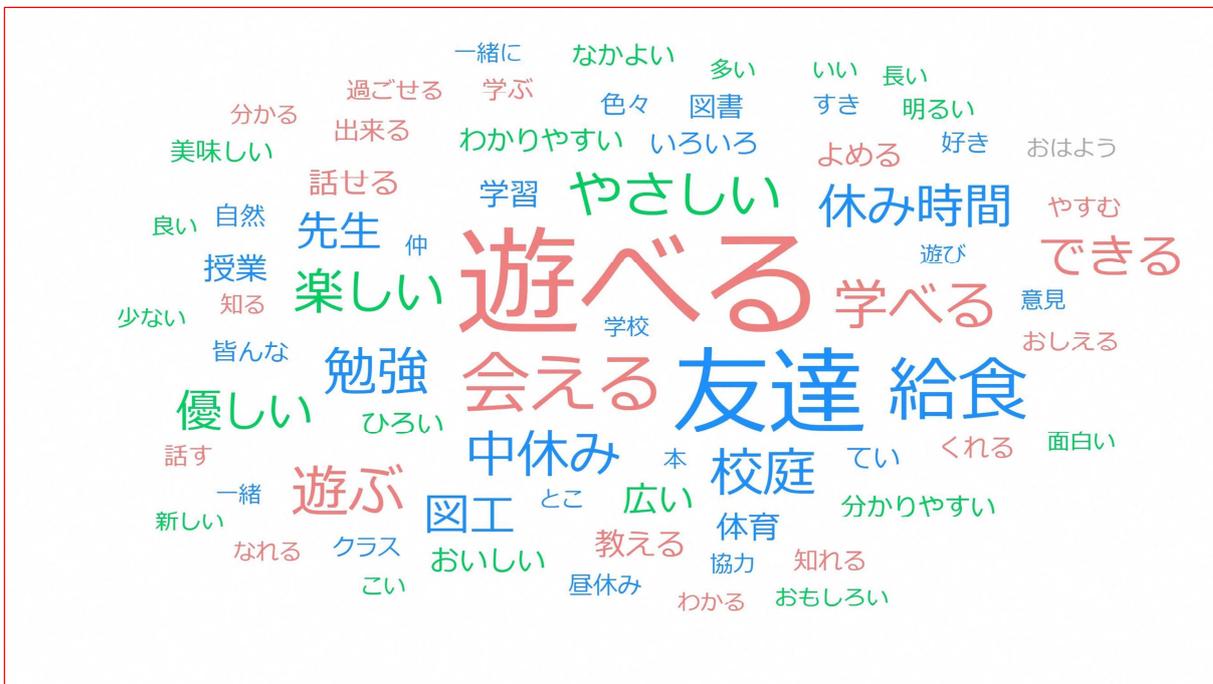
設問数:22問

Q1 あなたの学年を教えてください

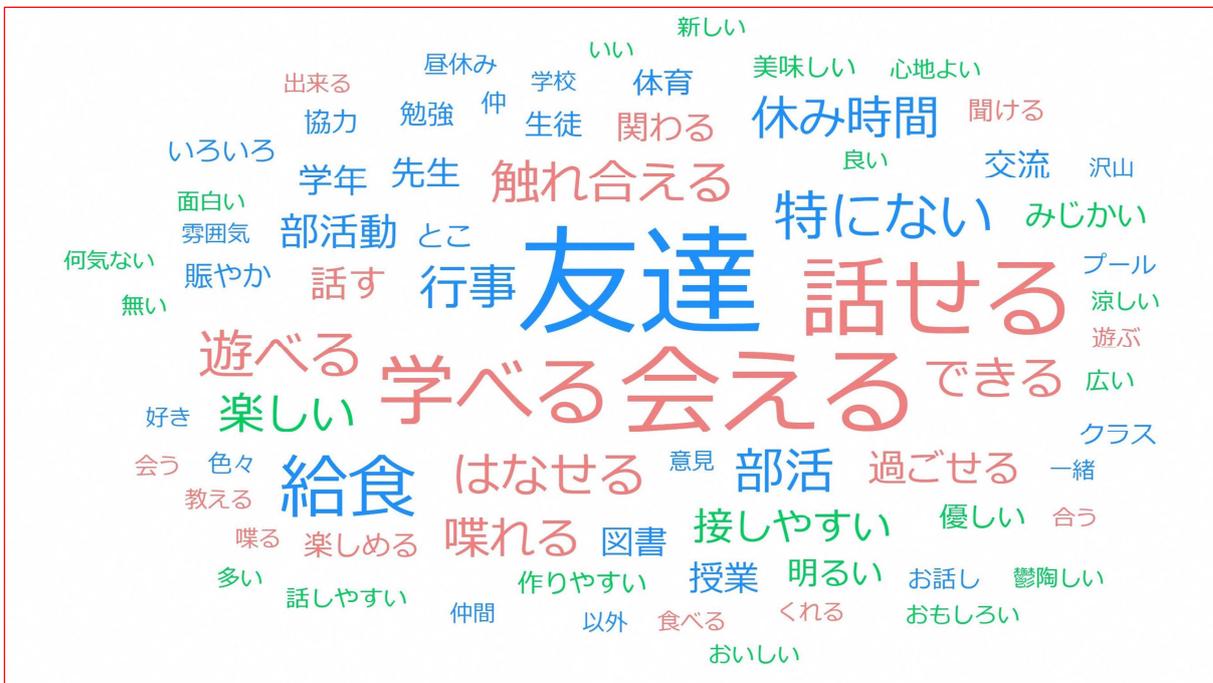


Q3 学校のどんなところが好きですか

【小学生】

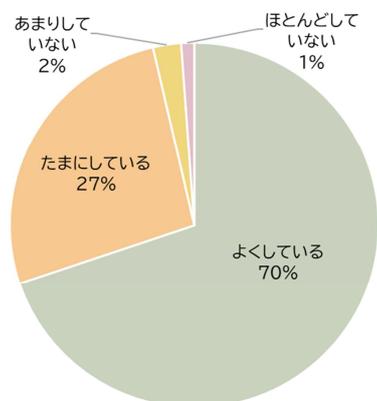


【中学生】

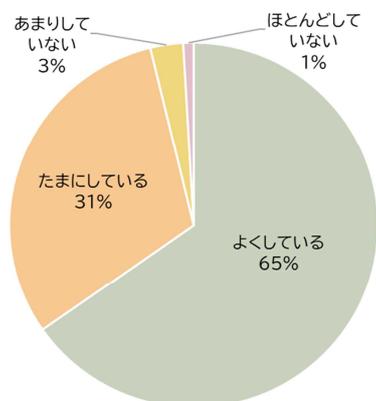


Q4 学校や家庭であいさつやきまりを守ることができていますか

【小学生】

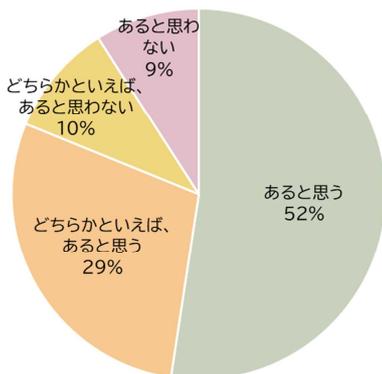


【中学生】

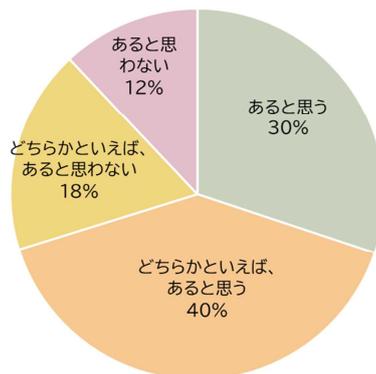


Q5 あなたは、自分の好きなところがありますか

【小学生】

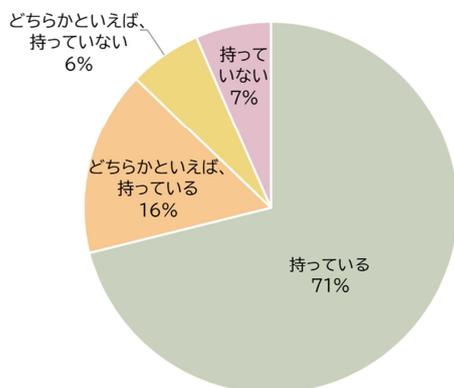


【中学生】

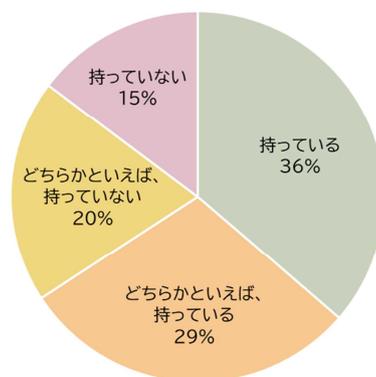


Q6 あなたは、将来の夢や目標を持っていますか

【小学生】

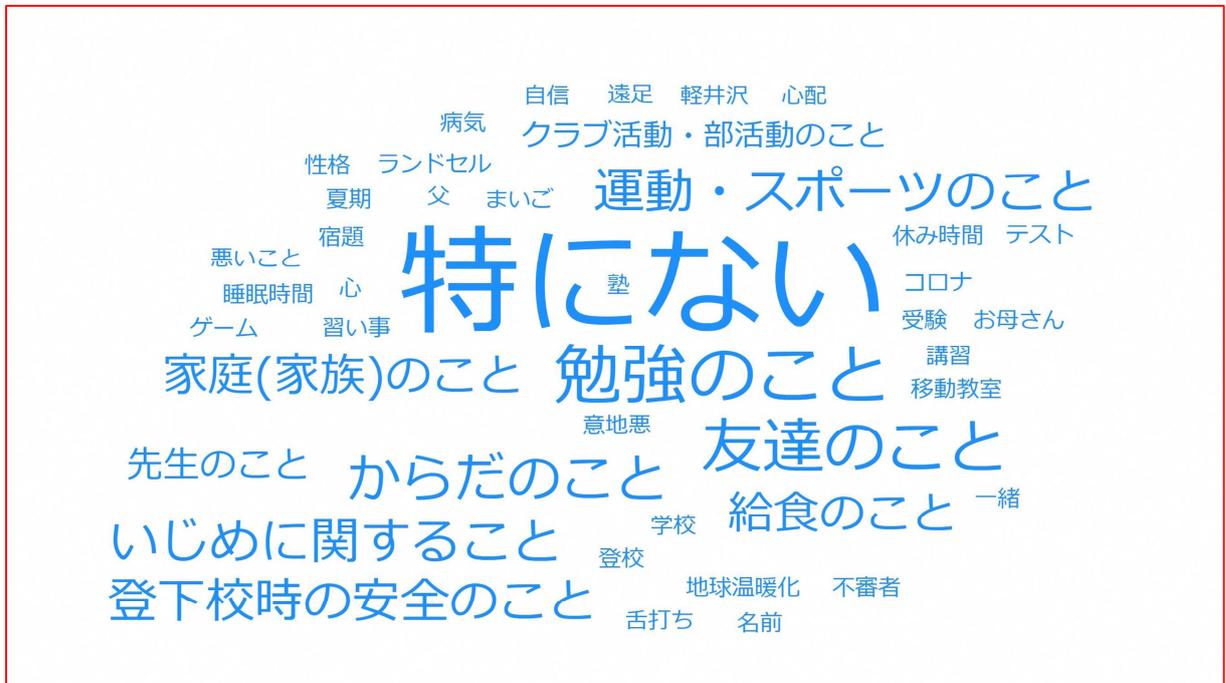


【中学生】

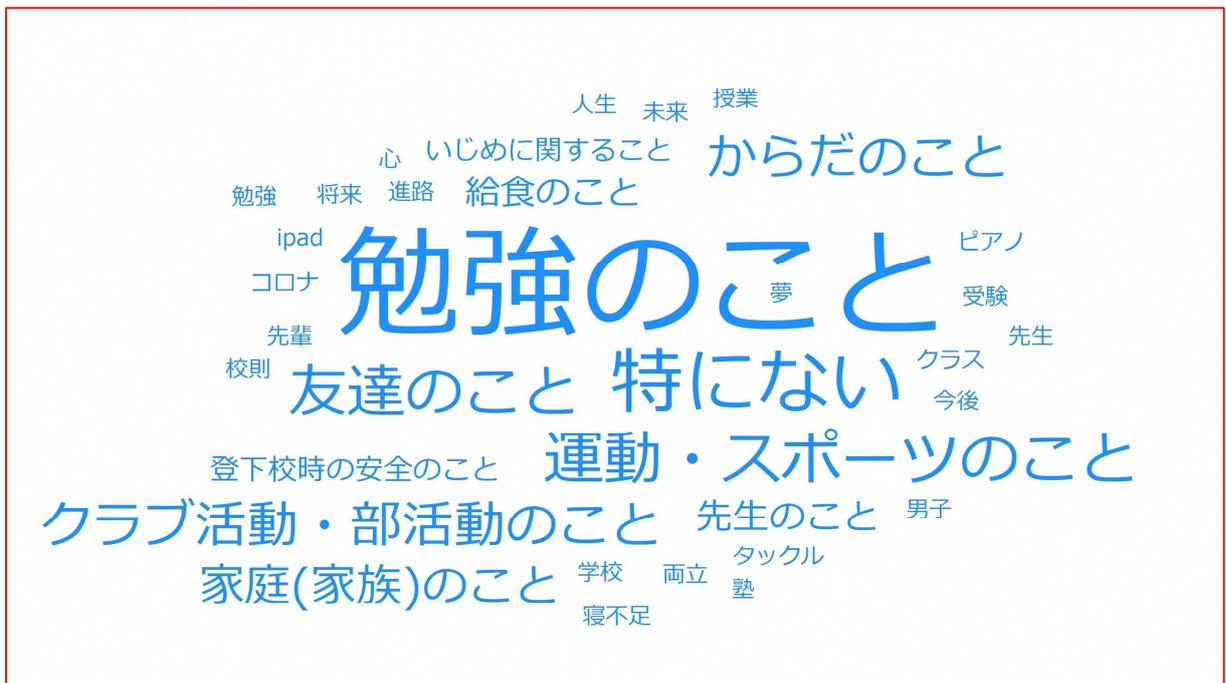


Q8 あなたは最近、困っていることや心配になることがありましたか(あてはまるものすべてにチェックしてください)

【小学生】

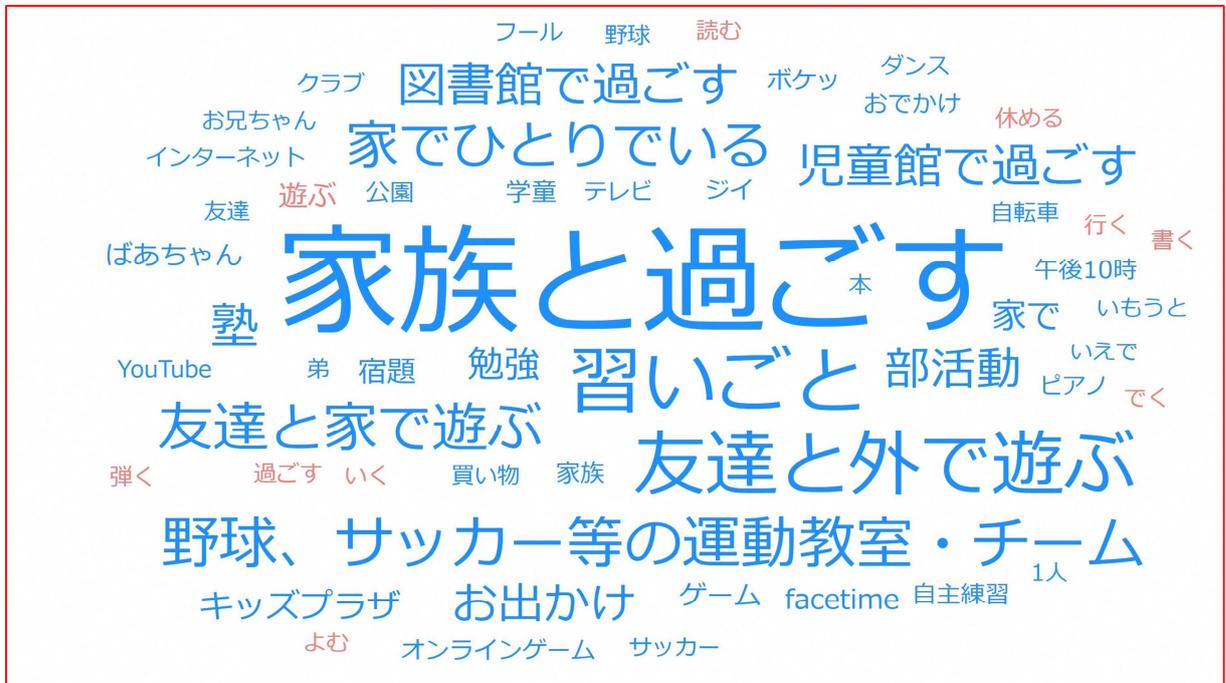


【中学生】

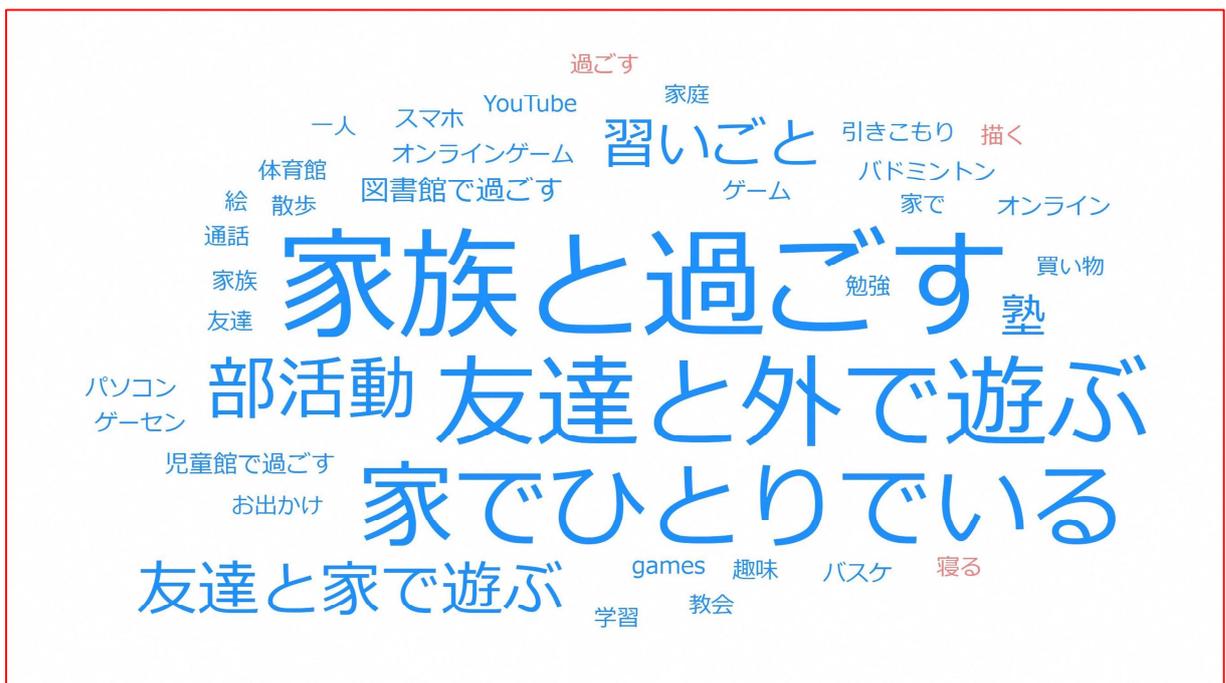


Q10 あなたは休みの日、どのようにして過ごすことが多いですか(あてはまるものに最大2つまでチェックしてください)

【小学生】

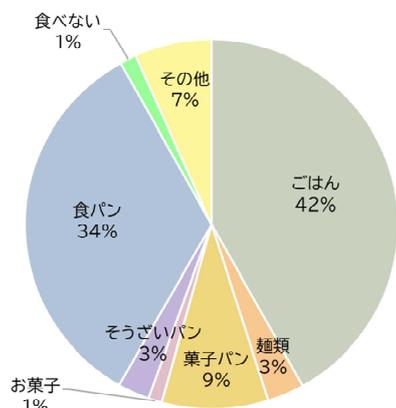


【中学生】

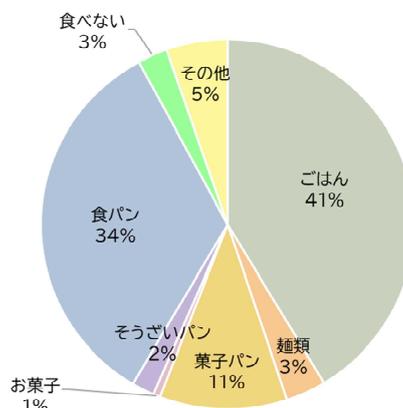


Q11 朝食に食べることが多いものは何ですか(あてはまるものを1つ選んでください)

【小学生】



【中学生】

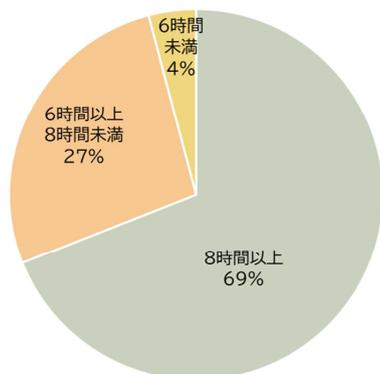


Q11 その他(自由記述)

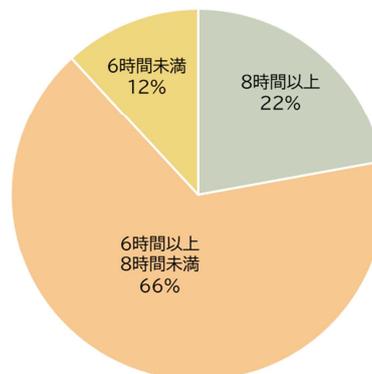
◆アイス◆ウィダーインゼリー◆ウィンナー◆おにぎり◆オムレツ◆お餅◆おやつ◆お豆腐◆お餅、おにぎり、メンチカツ◆カレー◆果物◆グミポテトチップス◆グラノーラ◆クロワッサン◆コーンフレーク◆コーンフレークとおにぎり◆食パン◆ご飯かパン+スープ◆ご飯・食パン・ヨーグルト・グラノーラ・レーズン◆ご飯と食パン両方◆ご飯かパン◆サラダ◆サラダチキン◆サラダ水◆サンドイッチ◆シェイク◆ジャムパン◆醤油餅◆食パンとスープ◆シリアル◆スープ◆スクランブルエッグ◆スティックパン◆そうめん◆たこ焼き◆卵料理◆タンパク質系◆チョコスティックパン◆バナナ◆パンケーキ◆ピザ◆プリンかパン◆フルーツ◆フルーツグラノーラ◆プロテイン◆ベーコン◆メロン◆ヨーグルト◆ヨーグルト、リッツ◆ヨーグルトバナナ◆ラザニア、コーンスープ、お魚◆ロールパン◆ワッフル◆ワッフルやパンケーキ◆栄養バー◆沖縄そば◆果実・野菜◆甘い物◆昨日の残ったご飯◆ミニピザとミックスジュース◆軽食◆田舎パン◆特に甘いもの◆米粉パンケーキ◆目玉焼き◆野菜◆野菜ジュースだけ◆卵焼き◆卵焼きと、味噌汁◆冷凍食品◆蒟蒻ゼリー

Q12 1日の睡眠時間はどれくらいですか

【小学生】

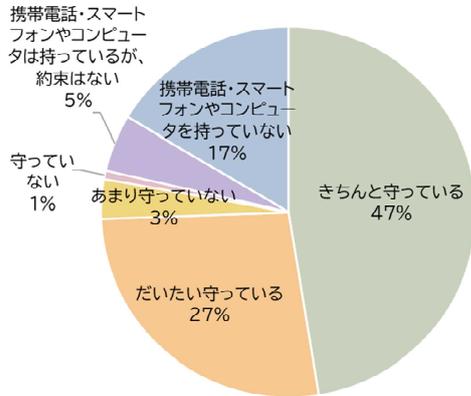


【中学生】

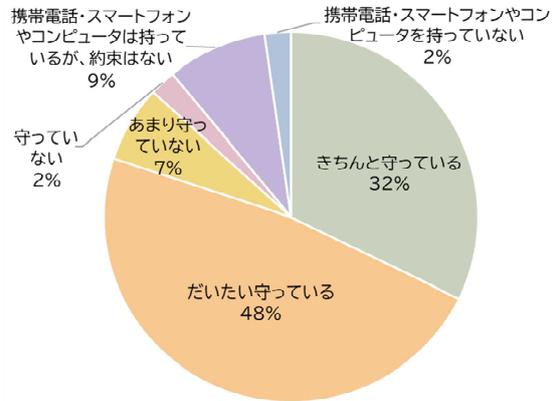


Q13 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか

【小学生】

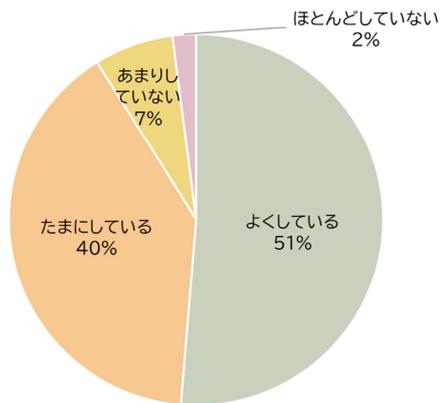


【中学生】

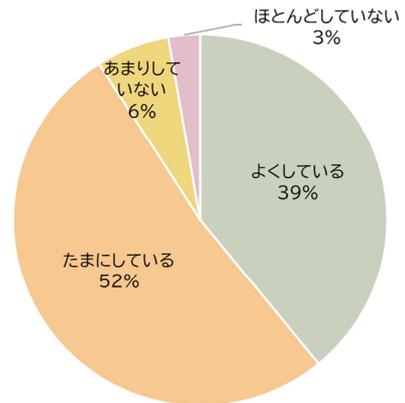


Q14 自分でやると決めたことは、やりとげるようにしている

【小学生】

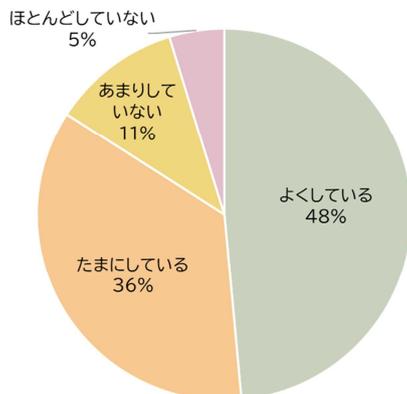


【中学生】

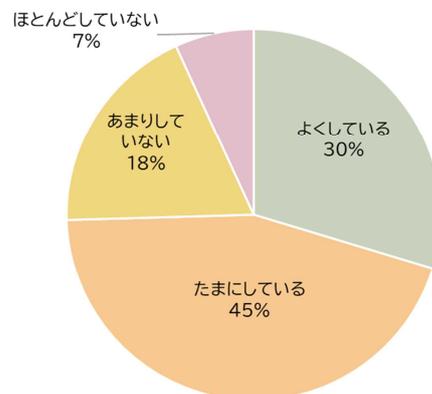


Q15 初めてのことも、失敗をおそれないで挑戦している

【小学生】

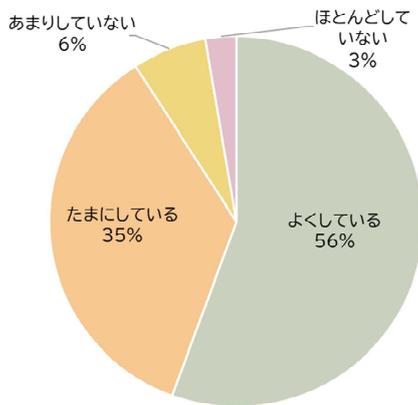


【中学生】

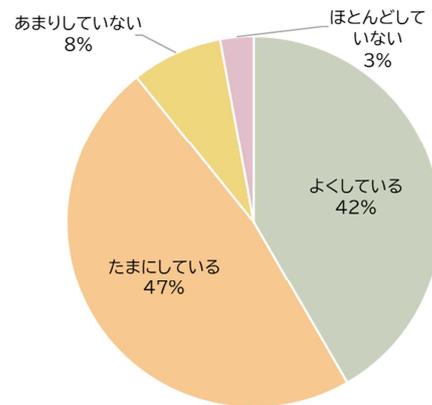


Q16 人が困っているときは、進んで助けている

【小学生】

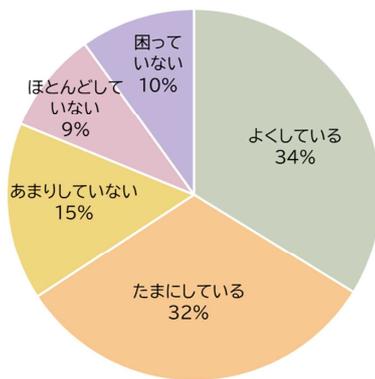


【中学生】

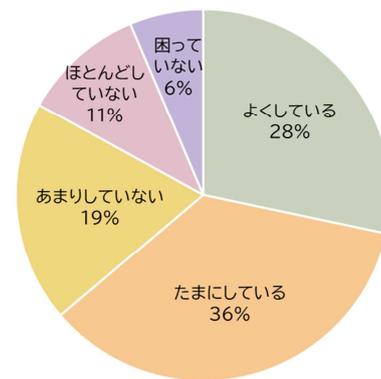


Q17 自分が困っているときは、人に助けを求めている

【小学生】

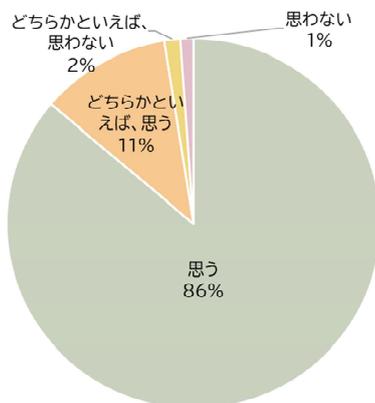


【中学生】

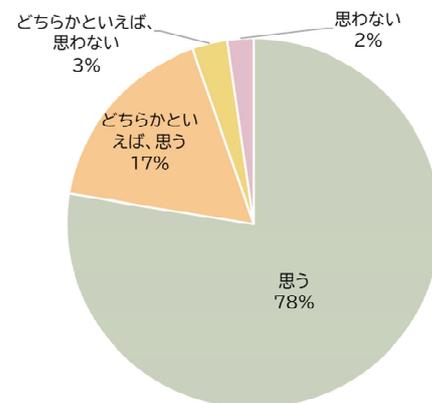


Q18 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う

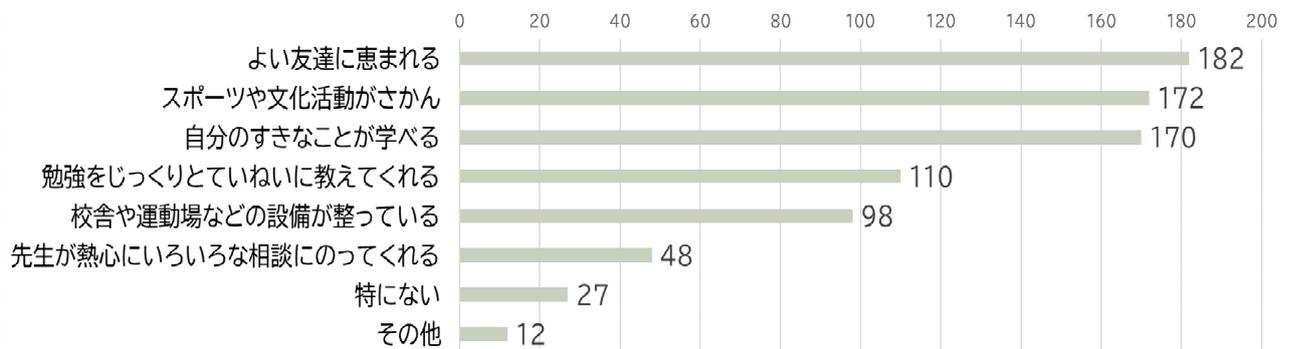
【小学生】



【中学生】



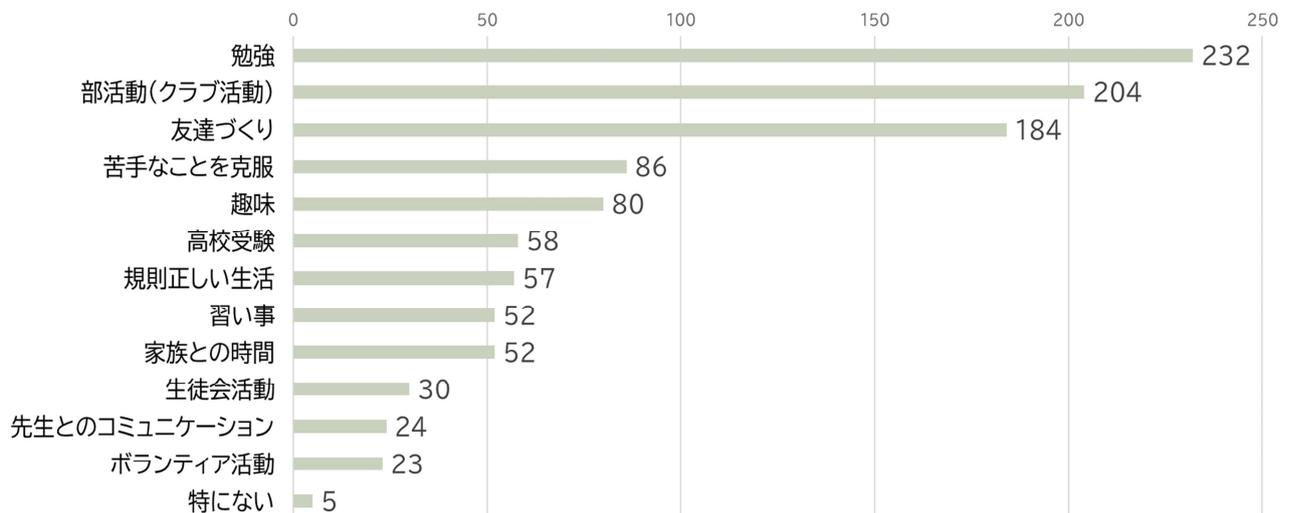
Q19【小学校6年生のみ回答してください】中学校生活に期待していることはありますか(あてはまるものに最大3つまでチェックしてください)



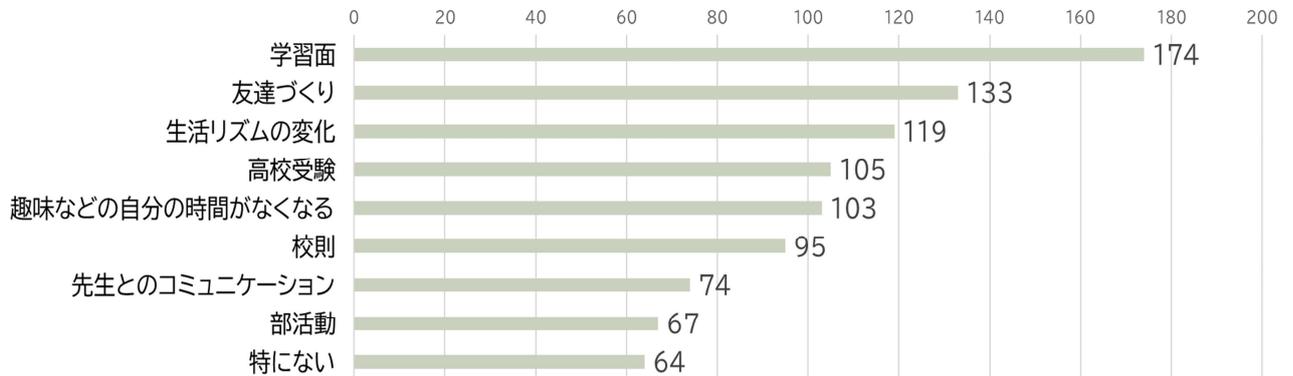
その他(自由記述)

- ◆いっぱい友達ができる。小学校と違うことがたくさんあって楽しそう◆いろんな友達と触れ合える
- ◆お楽しみ会を開いてほしい◆たくさん遊べる◆受験が終わりめちゃくちゃに遊べる◆制服◆部活動
- ◆保育園の頃の友達に会えるかもしれないから◆友情関係に困らず過ごせる◆友達が作りやすくなる

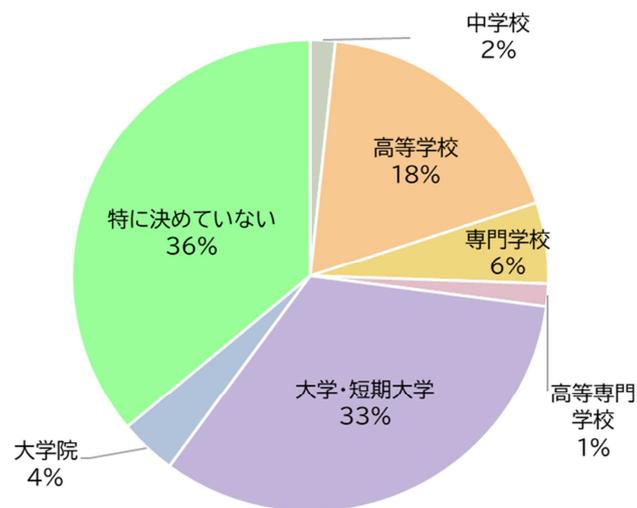
Q20【小学校6年生のみ回答してください】中学校生活ではどんなことに力を入れて取り組んでいきたいですか。又は大切にしていきたいですか。(あてはまるものに最大3つまでチェックしてください)



Q21【小学校6年生のみ回答してください】中学校生活への不安はありますか(あてはまるものすべてにチェックしてください)



Q22【中学生のみ回答してください】あなたは進学についてどのように考えていますか。将来の最終的な進学希望についてお聞かせください。



(備考)

Q2～3、7～10 はユーザーローカル テキストマイニングツールによる分析
(<https://textmining.userlocal.jp/>)

中野区教育ビジョン(第3次)改定に伴うアンケートの実施結果について 《児童・生徒保護者》

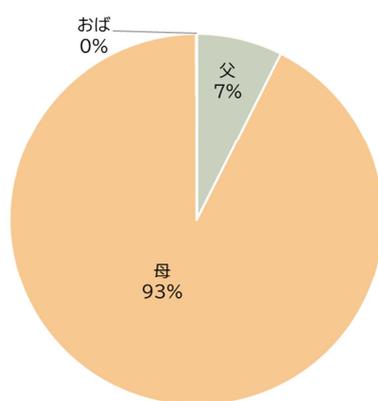
回答期間:令和4年7月14日~8月21日

回答方法:Google フォームのアンケートページから入力

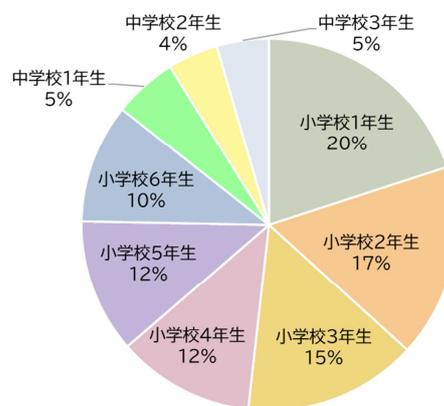
回答数:2,227件

設問数:28問

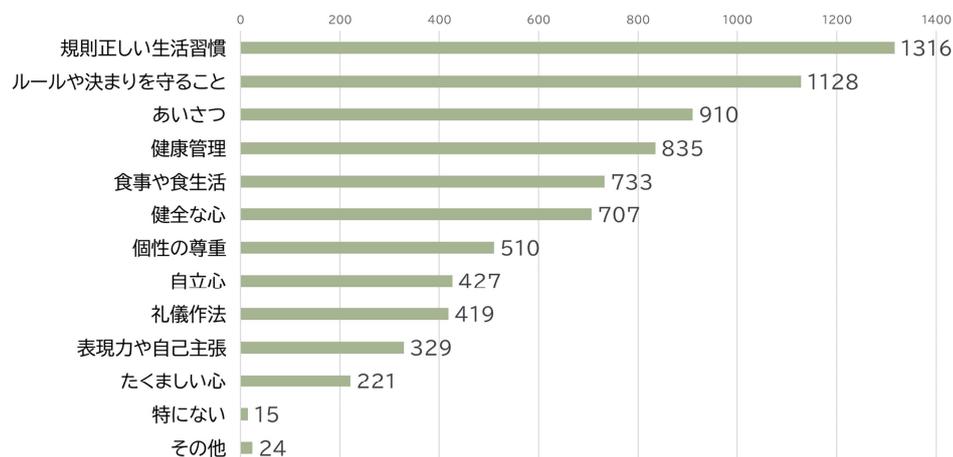
Q1 お子さんとの関係を教えてください



Q2 お子さんの学年を教えてください



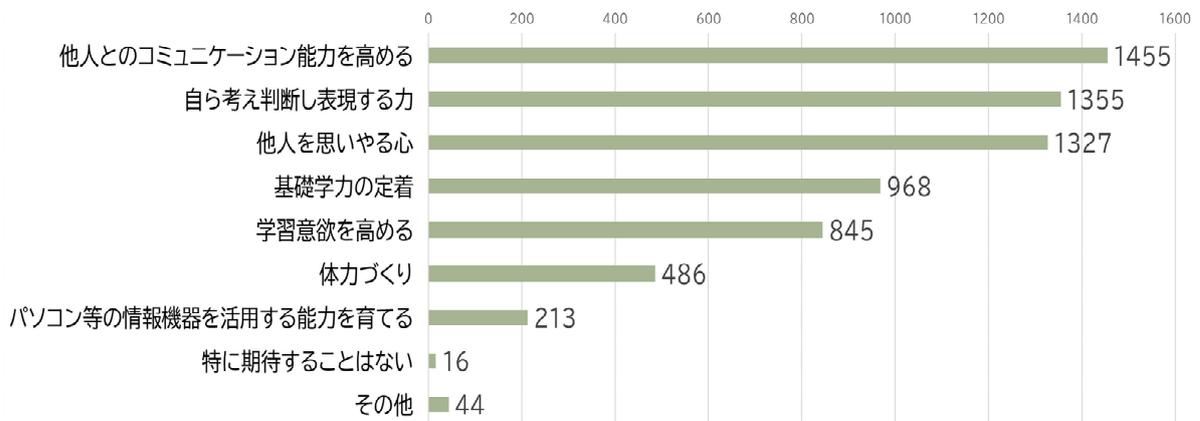
Q3 家庭教育で重視していることは、次のうちどれにあたりますか(あてはまるものに最大3つまでチェックしてください)



その他(自由記述)

- ◆1人の人間としての子どもの意見◆他者への気遣い◆相手の気持ちを想像すること◆愛情◆バランス力
- ◆愛情を伝えること◆思いやり◆自分を大切にすること、自分の好きなことを追求すること◆知能向上
- ◆色々な場所に行き多くの体験をしてもらう事です。◆ともだちとたくさん遊ぶ運動◆他者への優しさ
- ◆人の気持ちを考える◆自己肯定感を高める◆ウソをつかない。正直なこと◆毎日楽しく過ごすこと
- ◆上記全て重視◆自分で考えられる子◆勉強◆優しい心◆思考力◆嘘をつかない

Q4 お子さんの通っている学校に、期待する教育や指導は何ですか(あてはまるものに最大3つまでチェックしてください)



その他(自由記述)

(いじめ)

- ◆いじめへの迅速な対処、対応

(学び・教育)

- ◆学習障害への理解。聞いていなかったわけではなく聞けない障害についての理解。発達障害者の権利擁護について勉強する機会
- ◆インクルーシブ教育
- ◆支援が必要な子が置いてきぼりにならない環境。健康な子は通常級、支援が必要な子は支援級と分けるのではなく、共に学べる環境
- ◆個別最適な学び
- ◆一斉教育ではなく、個性を尊重する方向性の教育を強く希望
- ◆それぞれの能力に見合った学習環境の提供。出来る子にはどんどん上のレベルを目指せる環境
- ◆個に合ったスタイルで、自立した学習意欲を持つこと
- ◆日本文化の教育
- ◆座学ではない体験学習。経験値の獲得
- ◆ビオトープなどを活用した自然教育や野菜栽培など体験型学習

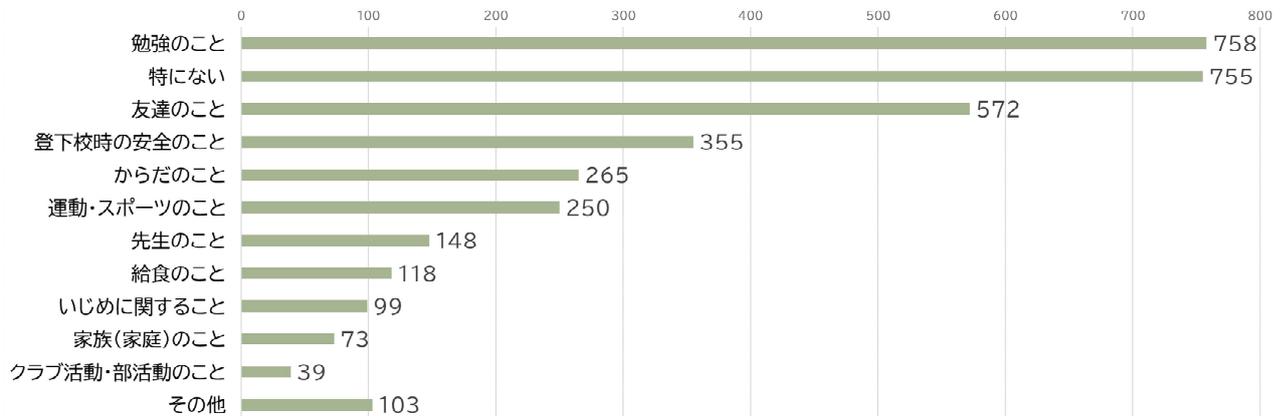
(多様性等)

- ◆それぞれの個性を認める事
- ◆自己・他者の尊厳を大切にできる心の育成と、その為の知識の習得
- ◆自己を確立しながら、異なる考えや価値観の中で人間関係を学ぶ

(その他)

- ◆学校に笑顔で行って笑顔で帰ってくる事
- ◆変に強制しないこと、好きを伸ばす、楽しい学校生活を送ること
- ◆コロナ禍でももっと工夫して出来ること
- ◆お友だちとの関わり方
- ◆大人に守られているという安心感

Q5 あなたのお子さんが最近、困っていることや心配になっていることでお気付きになることがありましたか(あてはまるものすべてにチェックしてください)



その他(自由記述)

(学校生活)

- ◆クラスが落ち着かない、姿勢が悪い児童が多い
- ◆休み時間に何をすればいいか困っている
- ◆プールの授業が男女混合で行われる事
- ◆子供は特定分野に特異な才能のあるギフテッドに該当するため、学習指導要領に沿った学習の進度や範囲が合わず知的欲求が満たされず、ストレスに感じる事が多い
- ◆担当する先生によって、生徒の態度が変化し、授業が滞る教科が出てきているように思う。授業を受けたい生徒にとっては、非常に苦痛でもったいない時間
- ◆特別支援学級に在籍しているが、ほとんどの活動が通常級と隔てられているため、行事などで交流した際にうまく馴染めない
- ◆発達障害のグレーゾーンに対するケア
- ◆特別支援学級に同性のクラスメイトがいなく、同性の子と遊びたそうにしている
- ◆オンライン授業の操作がわからず、授業についていけない

(生活その他)

- ◆インターネット、SNS との関わり方
- ◆タブレット、ゲーム依存の事
- ◆下校後・週末のお友達付き合いにおける、お金の使い方や自転車での移動の安全性について気になる
- ◆物をすぐ失くす、集団行動が苦手
- ◆学校、塾、習い事で毎日とても疲れた顔をしている

(いじめ・不登校)

- ◆時々、登校が不安になる
- ◆学校の初動対応不適により登校機会を奪われている
- ◆中学生になってから、なかなか登校できなくなった
- ◆月曜や休み明けに、よく学校に行きたくないと言う
- ◆安易な気持ちで無視をする友達がいる
- ◆物がなくなる

(健康)

- ◆マスク着用による、心身共に悪影響を及ぼしている
- ◆外遊びの時間が少ないので、できるだけ学校の中休み昼休みも体を動かして遊べるようにして欲しい
- ◆通学時のランドセルの重さに健康被害を感じる

◆登下校時に転んで骨折や怪我したので送迎している。ランドセルが重すぎて大怪我に発展するので中身を減らして欲しい

◆情緒不安定、気持ちのコントロール

(受験・将来)

◆勉強、部活、習い事の両立、勉強と遊びの時間配分

◆中学受験をすることに好意的でないこと

◆進学先の選定、将来への不安

(その他)

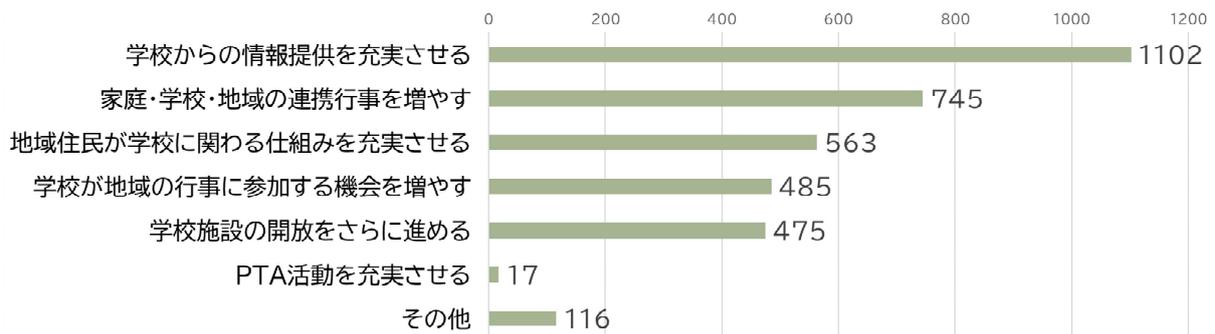
◆戦争、世間の事件事故について

◆漠然とした不安

◆親が仕事の間、夏休みの居場所

◆スケートボードの練習をする場所がない

Q6 現在、中野区では、家庭・学校・地域が連携しながら、家庭の教育力の向上や、幼児期からの教育の推進、地域力を活かす教育を推進しています。家庭・学校・地域が連携していくために、どのようなことが重要だと思いますか。(あてはまるものに最大2つまでチェックしてください)



その他(自由記述)

(情報交換・情報共有・交流・対話)

◆先生との連絡が連絡帳なので、アプリやメール等で連絡が取れるとよい

◆家庭からも情報を伝えやすいシステム作り

◆双方向の保護者会の機会を設け、意見を伝えやすくする

◆教育委員会の情報発信、活動内容の公開

◆家庭、学校、地域の連携必要性が分かるための広報活動や交流の場を通じた周知活動

◆学童クラブと学校の情報共有や連携を強化したら、より児童の特性など知るきっかけになる

◆保護者と教員が共に学ぶ機会

◆地域や家庭に発表する場を増やす

◆行事を増やすというのではなく、日頃のコミュニケーションの場を増やす。日頃の学校は閉鎖的であり、日頃の対話と信頼関係を構築すること、連携が大切

◆学校とのコミュニケーション機会を増やす

◆保護者、教員、地域住民が日常的にコミュニケーションをとりやすい環境が必要

◆子供が少なかった地域の住民の方々への子供や高齢者等への互いの理解を深める機会が必要

- ◆家庭と学校相互の連結を密にし、個別に対応
- ◆親と学校との関わり方の見直し
- ◆学校が主体の取り組みや発信が重要なのは確かですが、トップダウンなやり方ではなく、合意形成を重視してほしい
- ◆中野区行政がすすめたいハイティーン会議のような子どもが関わるものがあれば、適宜学校単位で参加を募ったり、学校とダイレクトに関わることを増やす
- ◆地域の方々よりまずは父兄同志の横の繋がりと、先生との繋がりをつくるしくみ作りが重要
- ◆土曜日の授業を無くすこと。地域の行事を土曜日にしたり、保護者会、個人面談など保護者が学校に行く用の日を土曜日にする

(連携事業等)

- ◆保護者会や学校公開、運動会の行事等のオンライン配信
- ◆地域住民の見守り活動
- ◆保育園、幼稚園と学校の連携行事を増やす
- ◆合同行事(地域清掃等)を授業に盛り込む
- ◆家庭と学校、学童や放課後デイと学校の連携が取れたら良いと思うけども先生達はとても忙しい事も理解できるので、相談、調整できるコーディネーターの配置
- ◆先生方の負担にならない範囲で、地域との交流を図れる方法があればよい
- ◆先生の仕事がとても多く、負担が大きいので、見守り支援員的なスタッフというか、地域の大人たちの関わりがあるといいなと思う時がある
- ◆中学の部活指導員を地域の大人に依頼して関わりを持つようにする

(PTA活動等)

- ◆家庭や地域の限られた力を効果的に利用するため、万全と続く無駄な活動を減らす
- ◆PTAの業務軽減。学校に関わろうとすると現在のPTAの活動は忙しく逆効果。共働き世帯も多いので時代とかけ離れている
- ◆現状概ね満足。これ以上連携重視のためになにか行事が増えたら、PTA活動も町会活動もキャパオーバーになる
- ◆PTAはアウトソーシングし単純に楽しめるものにする

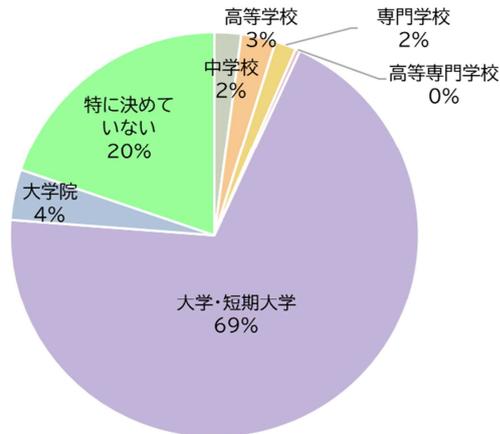
(居場所確保・体験活動)

- ◆子供の放課後の居場所の提供
- ◆未就学児が過ごせる広場を作る
- ◆こどもの遊び場を増やす、地域コミュニティセンターの開放、公園のミストシャワーの設置
- ◆科学館やプールなど子供が楽しめる施設が中野区には少なすぎる
- ◆土日に家族で利用できる屋内施設の提供。運動、工作、読書(マンガ、雑誌)ができる場所
- ◆地域企業による職場体験やコミュニティセンターで開催しているような教室など学校施設を利用した体験教室を増やす

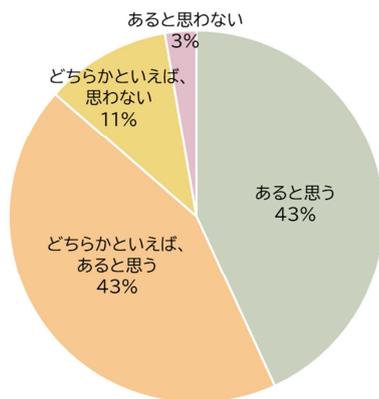
(その他)

- ◆学校の信頼性(現在は校長の独断で決まっていることが多く全く信頼できない)
- ◆学校の方針に賛同と尊敬と尊重をもつ
- ◆家庭での教育のフォローアップ
- ◆不登校になった場合の対応マニュアルの充実と先生向けの勉強会
- ◆発達障害や鬱の生徒に対する理解と学校対応の場
- ◆働いている母親が多く、子供にたくさん時間が割けない中で、親の負担をどう少なくし、子供と接する時間をどう増やせるか
- ◆地域と連携して教育をしていくということ自体のイメージがわからない
- ◆先生、学校の負担を減らす
- ◆行事などを増やして教員を疲弊させないこと
- ◆次期教育ビジョンに「オンラインによる学校公開」の視点

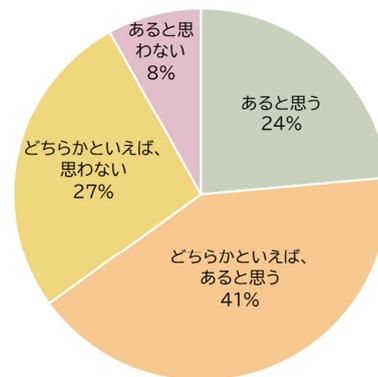
Q7 お子さんの進学については、どのように考えていますか。将来の最終的な進学希望についてお聞かせください。



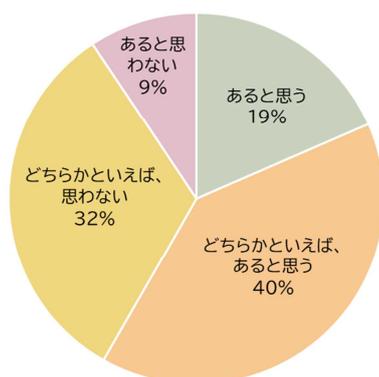
Q8 学校での面談や学力にかかわる調査結果などをもとに、お子さんの学習状況を知り、お子さんと共に学習習慣の定着に向けて取り組む機会がありますか



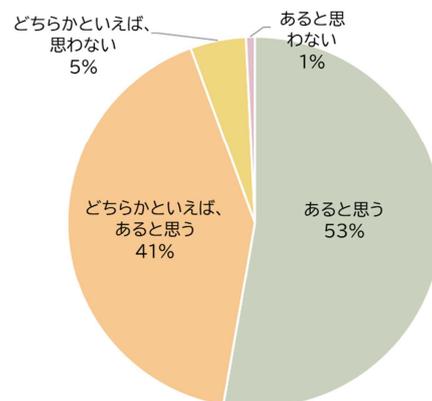
Q9 障害のある子どもに対する理解を深め、障害の有無に関わらず共に生きることを考える機会がありますか



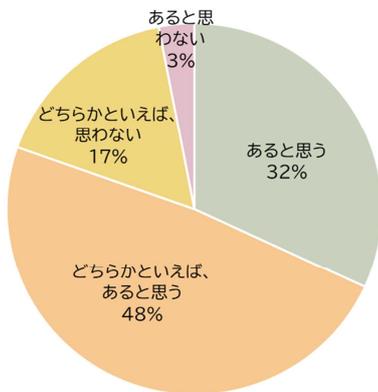
Q10 地域の行事やボランティア活動等に参加するなど、さまざまな体験をとおして、人とのつながりや生命、自然の大切さなどについて、家族で共有する機会がありますか



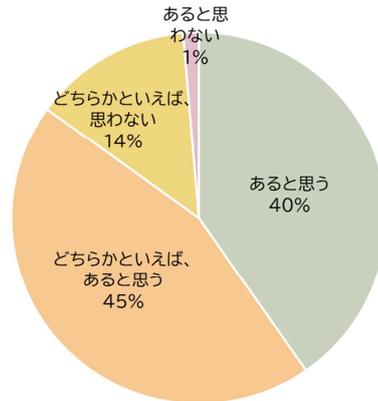
Q11 人に迷惑をかけないことや誰に対しても思いやりを持って接すること、社会のルールやマナーを守ることの大切さを伝える機会がありますか



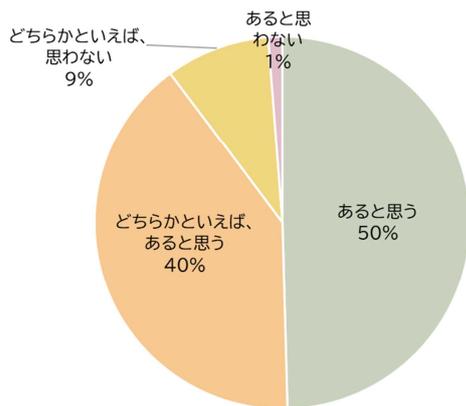
Q12 家庭の中でも省エネルギーやごみの減量等に取り組む機会がありますか



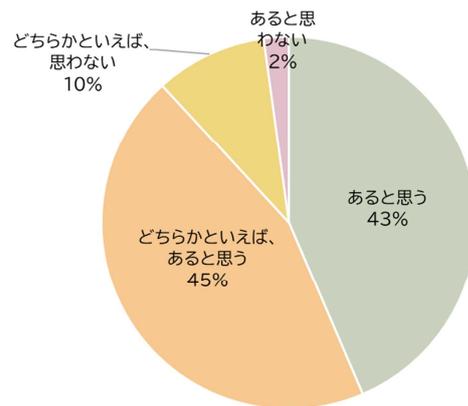
Q13 家庭の中において、お子さんに自分の役割をもたせる機会がありますか



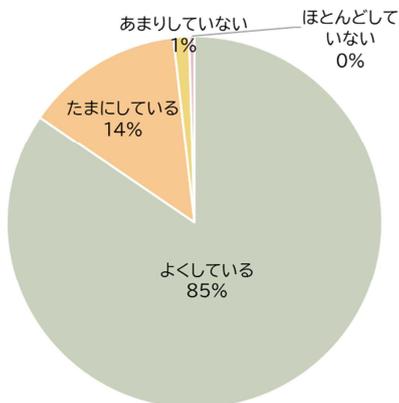
Q14 働くことの大切さをお子さんに伝える機会がありますか



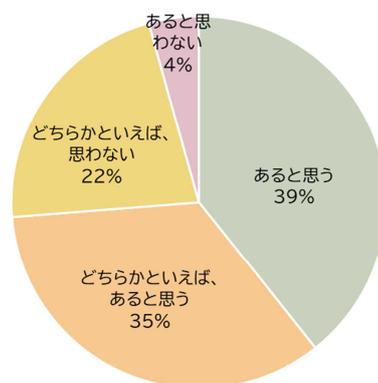
Q15 情報モラルやスマートフォン等の使用ルールなどについて家族で共有する機会がありますか



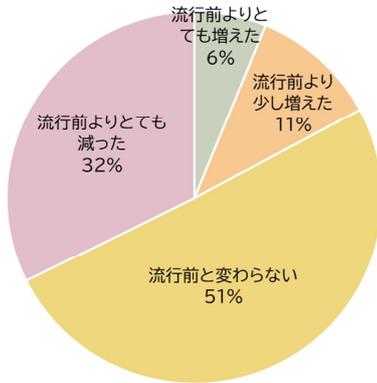
Q16 基本的な生活習慣、食習慣を身に付けさせていますか(朝食を毎日きちんと食べる、夜更かしをしない、手洗いをきちんとする、歯を正しく磨くなど)



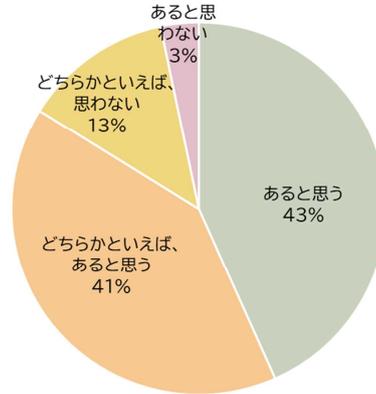
Q17 お子さんと一緒に歩いたり、外で体を動かしたりするなど、お子さんが日常生活の中で運動する機会がありますか



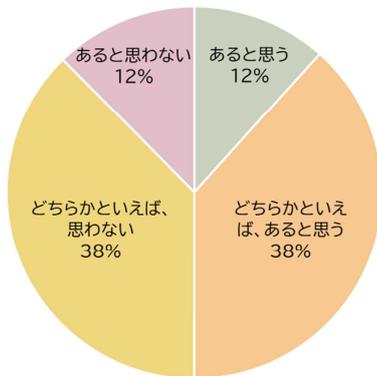
Q18 現在と新型コロナウイルス感染症が流行する前と比べて、お子さんの運動時間（体育の時間を除く）は元の状態に戻りましたか



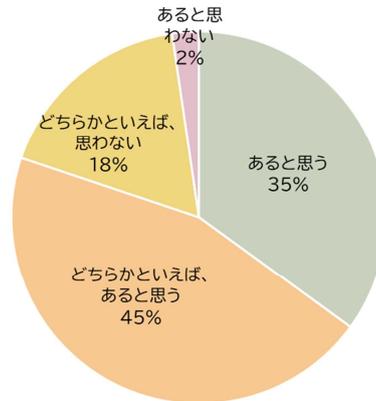
Q19 1日のテレビやゲーム、スマートフォンの時間を決めるなど、家庭におけるルールがありますか



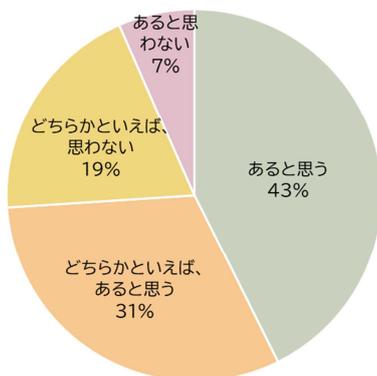
Q20 学校と協働し、子どもたちのための教育環境づくりに携われる機会がありますか



Q21 お子さんと共にさまざまな学びに取り組み、学校では得られない知識を得る楽しさや大切さを教えるため、保護者の持つ経験をお子さんに伝える機会がありますか



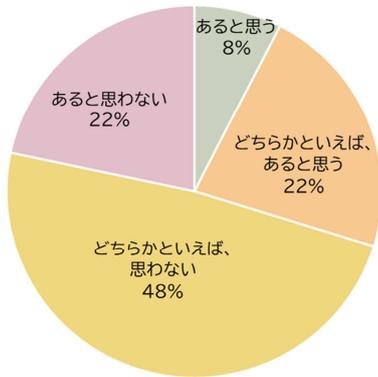
Q22 お子さんが楽しくスポーツをする機会がありますか



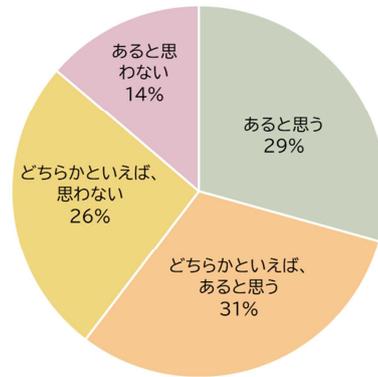
Q23 ご家庭で優れた文化・芸術作品を鑑賞する機会がありますか



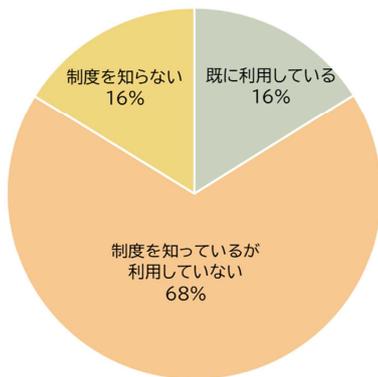
Q24 地域の文化や歴史にふれる機会がありますか



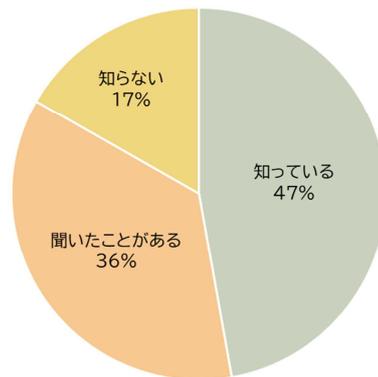
Q25 お子さんには読書の習慣はありますか



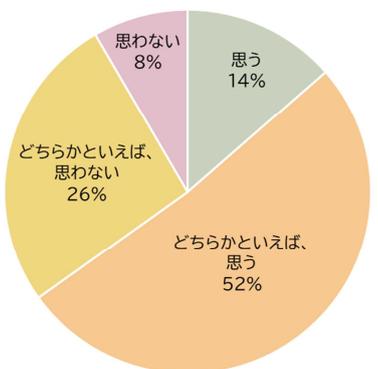
Q26 発達の遅れなど支援を要する子どもについての教育(就学)相談は、就学前の早い段階からの相談もできることを知っていますか



Q27 お子さんの発達状況について不安等がある場合、そのことを相談する所を知っていますか



Q28 通学中の学校では、子ども一人ひとりの特性や発育・発達状況に応じた適切な配慮(サポート)がされていると感じますか



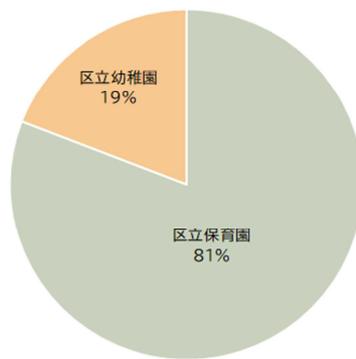
(備考)

グラフの「0%」は、回答数が1以上あるものの、割合が1%に満たないものです。

中野区教育ビジョン(第3次)改定に伴うアンケートの実施結果について
《保育園・幼稚園保護者》

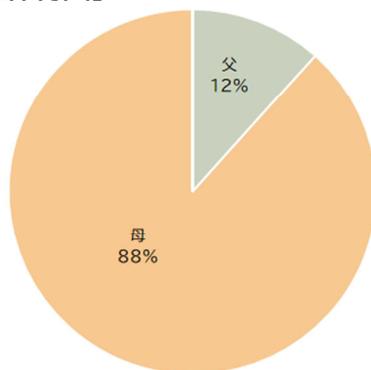
回答期間:令和4年7月14日~8月21日
回答方法:Google フォームのアンケートページから入力
回答数:298件
設問数:29問

Q1 お子さんが通っている保育園、幼稚園の種類を教えてください

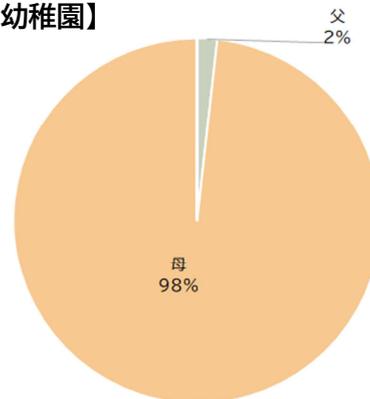


Q2 お子さんとの関係を教えてください

【区立保育園】

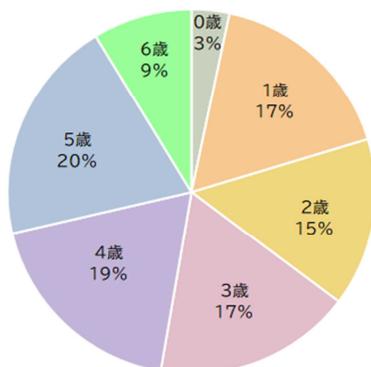


【区立幼稚園】

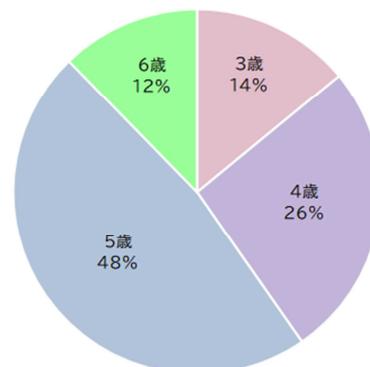


Q3 お子さんの年齢を教えてください

【区立保育園】

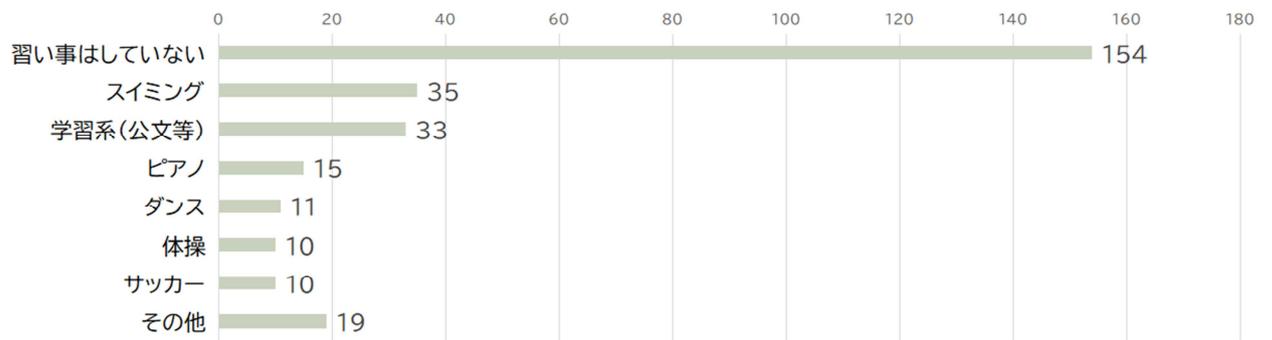


【区立幼稚園】

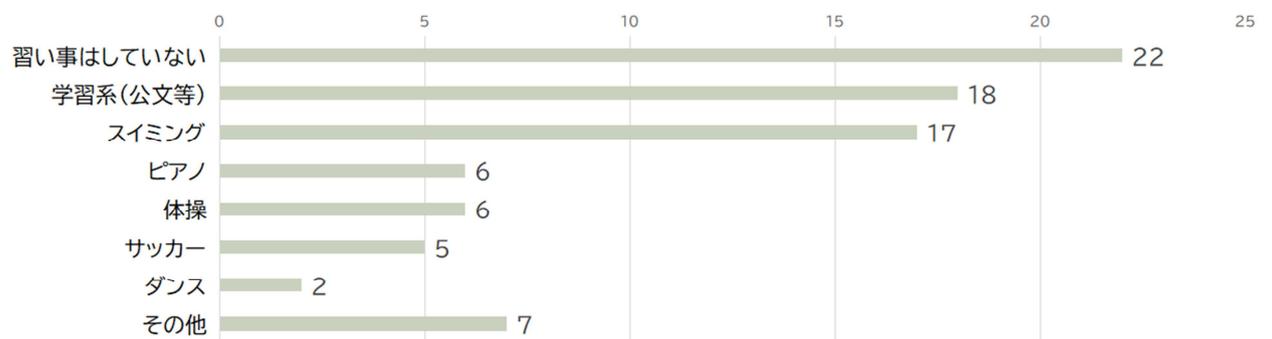


Q4 お子さんは習い事に通っていますか(あてはまるものすべてにチェックしてください)

【区立保育園】



【区立幼稚園】

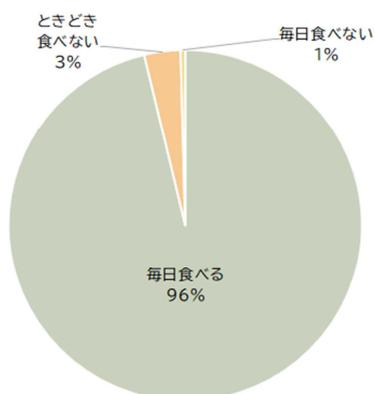


その他(自由記述)

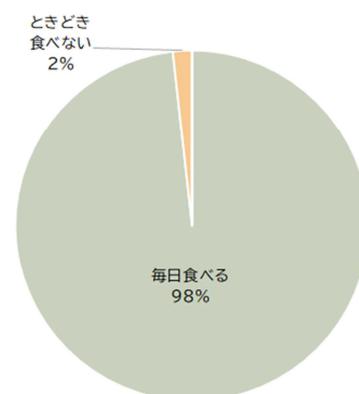
- ◆アート◆ヴァイオリン◆こどもちゃれんじ◆ドラム◆バイオリン◆バレエ◆バレエ、レゴ◆ヨガ◆ラグビー◆リトミック◆英会話◆英語◆音楽◆空手◆自宅学習通信教育◆柔道◆療育

Q5 お子さんは毎日朝食を食べていますか

【区立保育園】

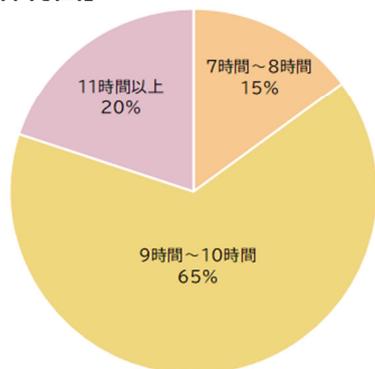


【区立幼稚園】

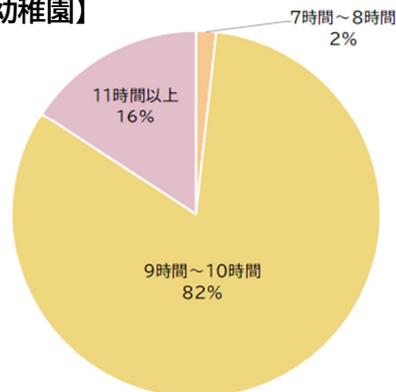


Q6 お子さんの1日の睡眠時間はどれくらいですか(昼寝を含む)

【区立保育園】

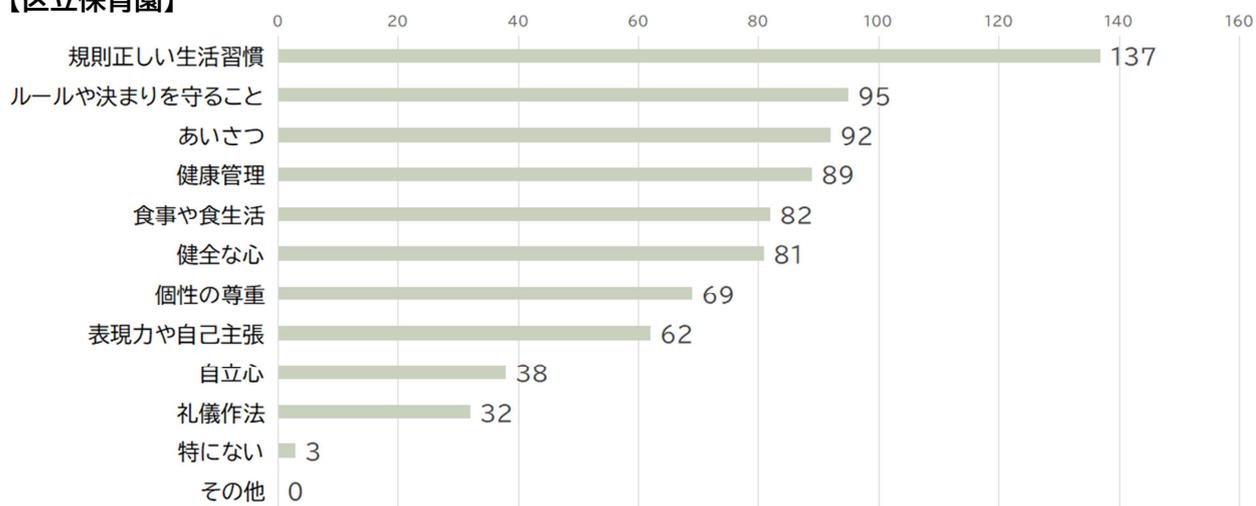


【区立幼稚園】

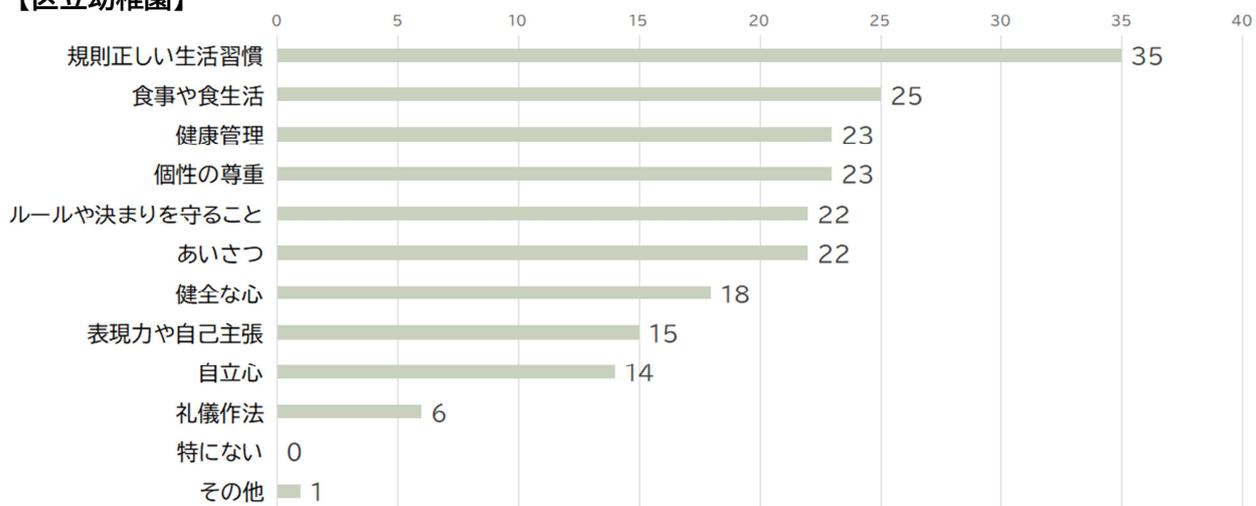


Q7 家庭教育で重視していることは、次のうちどれにあたりますか(あてはまるものに最大3つまでチェックしてください)

【区立保育園】



【区立幼稚園】



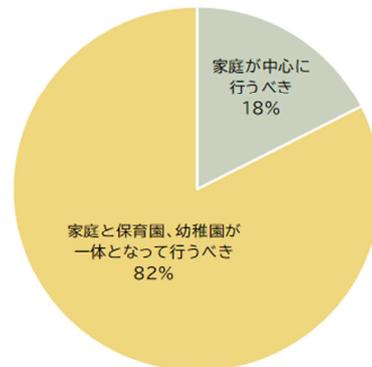
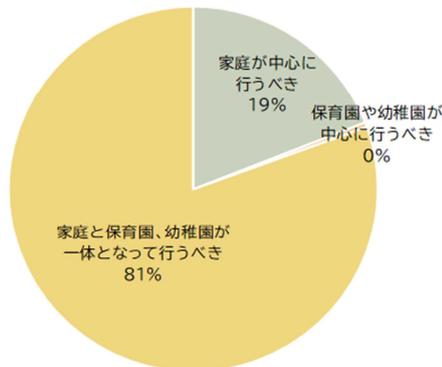
その他(自由記述)

◆言葉ではなく行動でそれらを親が見せるようにしています

Q8 子どものしつけについて、どうあるべきだとお考えですか

【区立保育園】

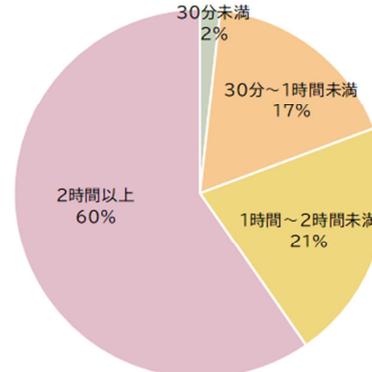
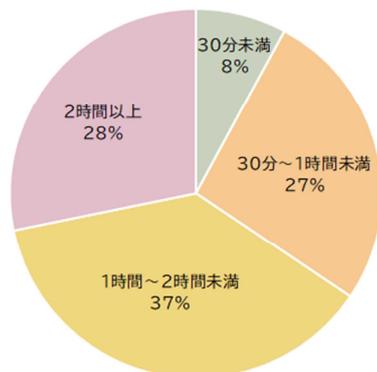
【区立幼稚園】



Q9 一日(平日)のうち、ご家庭でお子さんと遊ぶ・話すなど、向き合う時間はどのくらいありますか

【区立保育園】

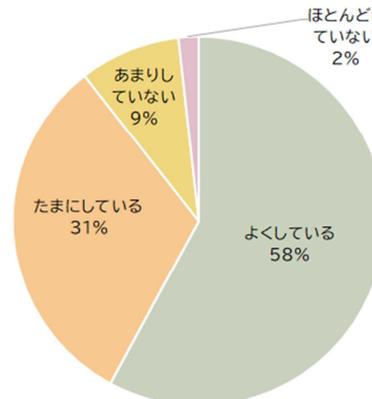
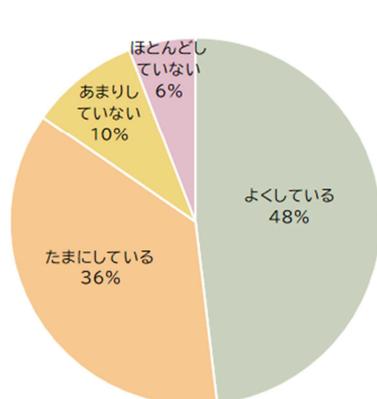
【区立幼稚園】



Q10 ご家庭で本の読み聞かせなど、お子さんが本に親しむ機会はありますか

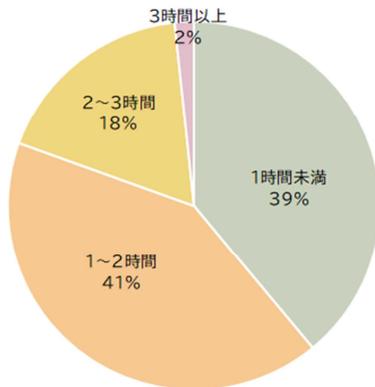
【区立保育園】

【区立幼稚園】

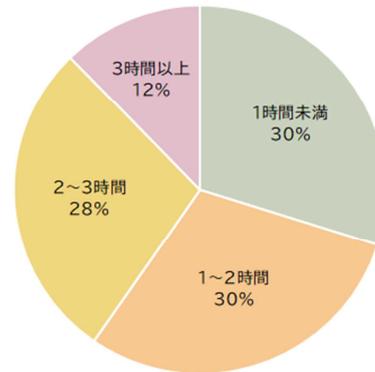


Q11 一日(平日)のうち、お子さんはどのくらいの時間、テレビを見たりゲーム(テレビゲームなど電子的なもの)で遊んでいますか

【区立保育園】

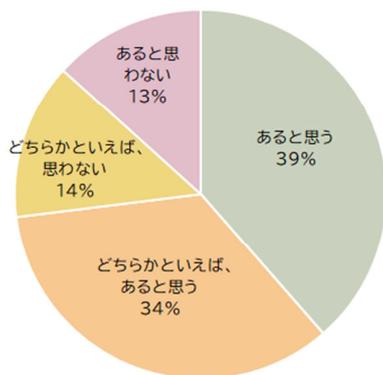


【区立幼稚園】

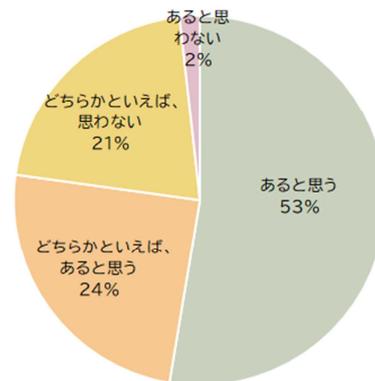


Q12 1日のテレビやゲーム、スマートフォンの時間を決めるなど、家庭におけるルールがありますか

【区立保育園】

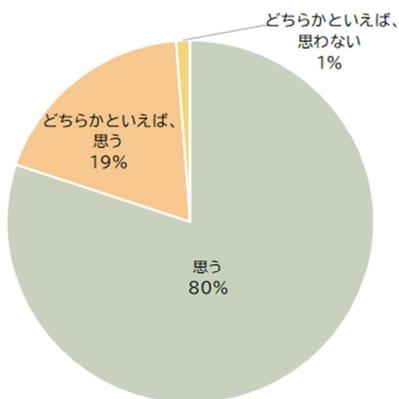


【区立幼稚園】

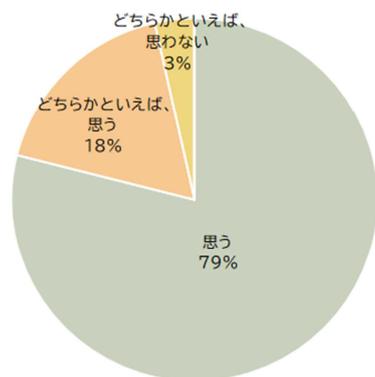


Q13 お子さんは楽しく保育園、幼稚園生活を送っていると思いますか

【区立保育園】

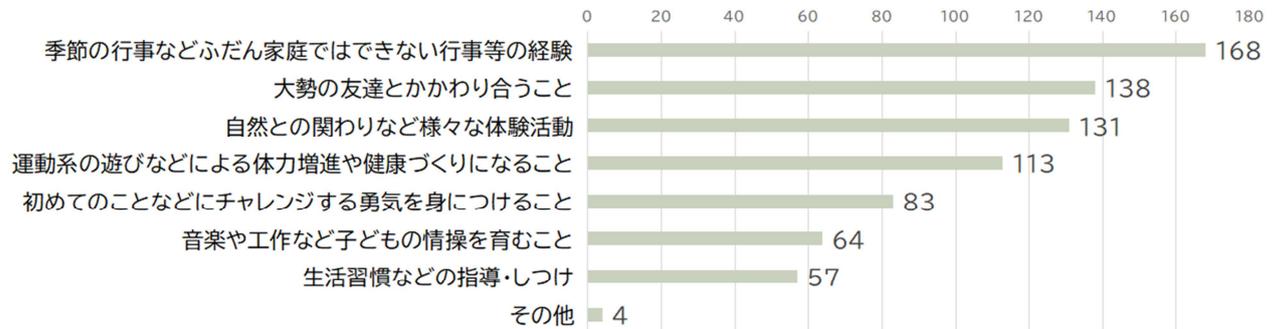


【区立幼稚園】



Q14 保育園、幼稚園で重点的に取り組んでほしいことはどんなことですか(あてはまるものに最大3つまでチェックしてください)

【区立保育園】



【区立幼稚園】

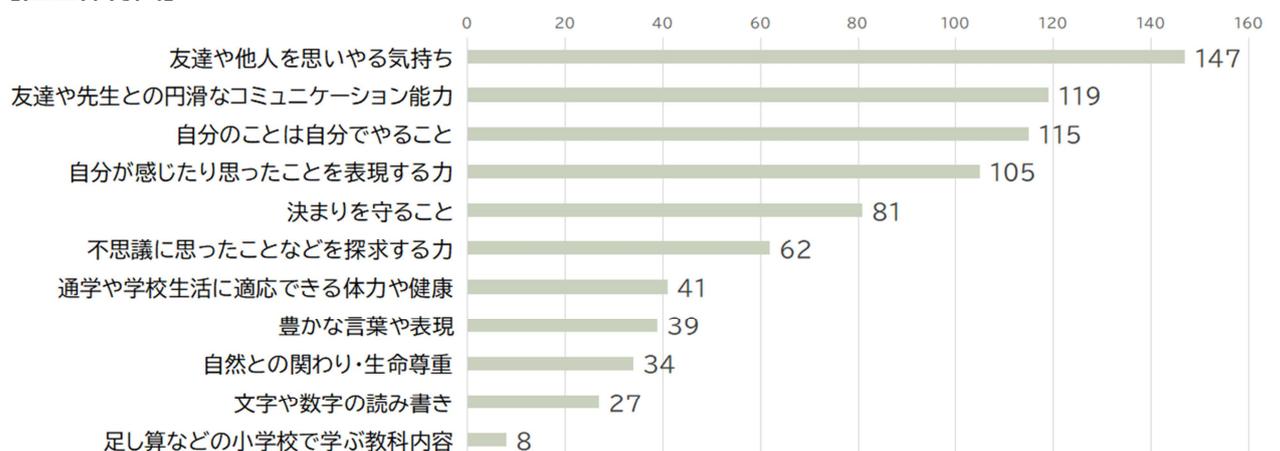


その他(自由記述)

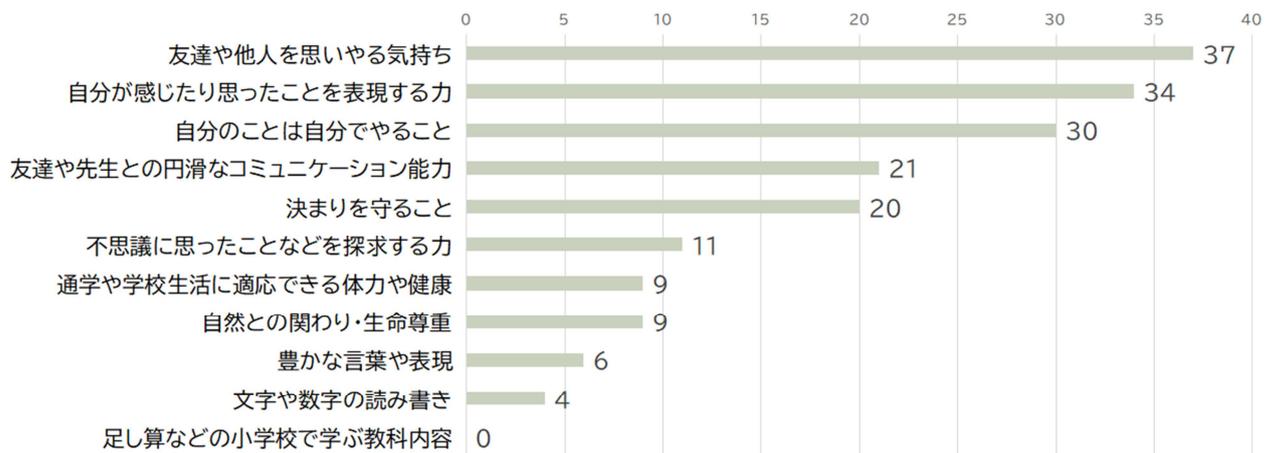
- ◆とにかく遊び、指先や身体を使い方を沢山やってもらい、新しい刺激を与えて欲しい
- ◆協調性、社会のルールを学ぶ、相手を思いやる◆自己肯定感を育む教育◆社会経験ルールを身につけて
- ◆親以外の大人、先生との関わり◆人には色々なタイプがあるということ、いわゆる多様性を意識できる
- ◆幼稚園までの距離が遠いため幼稚園バスの設立

Q15 小学校入学前までに育ててほしい子どもの姿は何ですか(あてはまるものに最大3つまでチェックしてください)

【区立保育園】

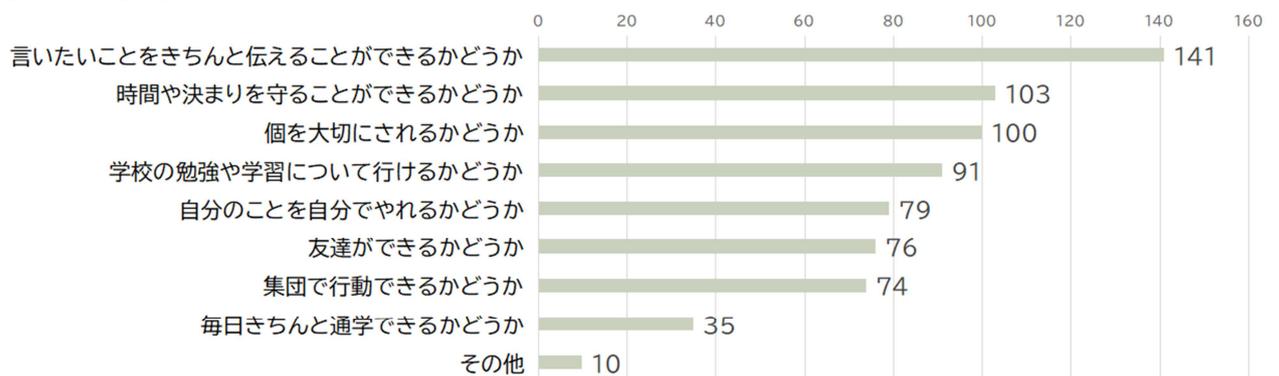


【区立幼稚園】

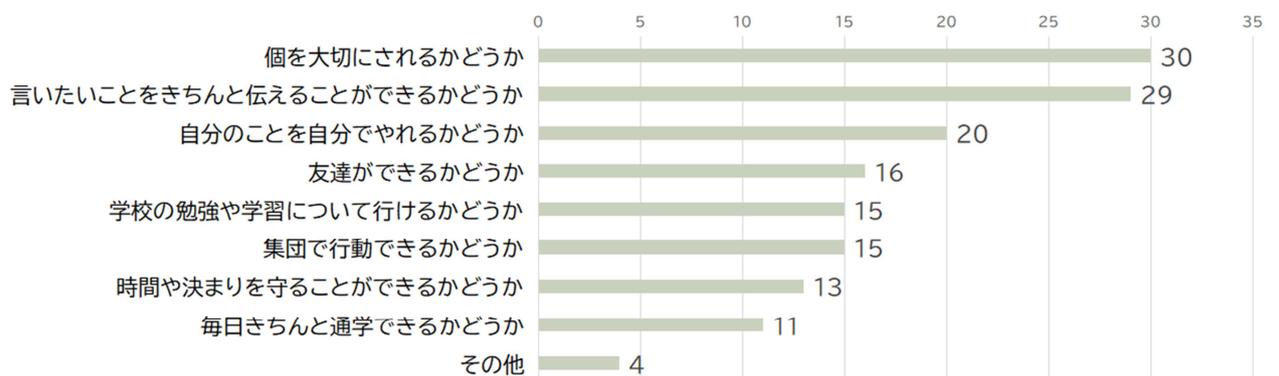


Q16 小学校入学にあたって、特に不安に感じていることは何ですか(あてはまるものすべてにチェックしてください)

【区立保育園】



【区立幼稚園】

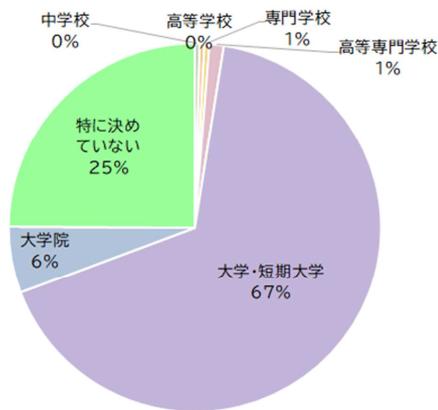


その他(自由記述)

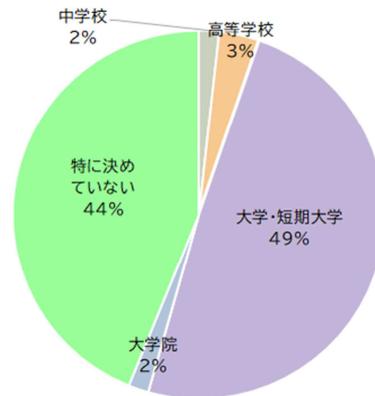
◆トイレでうんちが出来ない事◆まだ1歳なので、分からない◆まだ想像できない◆仮校舎への長距離通学◆仕事を続けられるかどうか◆小学校の授業が昔と比べて英語やプログラミングなど科目数が増え、詰め込みだと感じる。子どもがいっぱいいっぱいで小学校自体に興味を持たず不登校になるのではないかと心配である。◆先生方がどこまで子どもたちに目を配れるか◆通学時の安全面の担保◆通学途中の不審者◆友達とトラブルなく仲良くできるか◆特にない

Q17 お子さんの進学についてどのように考えていますか。将来の最終的な進学希望についてお聞かせください。

【区立保育園】

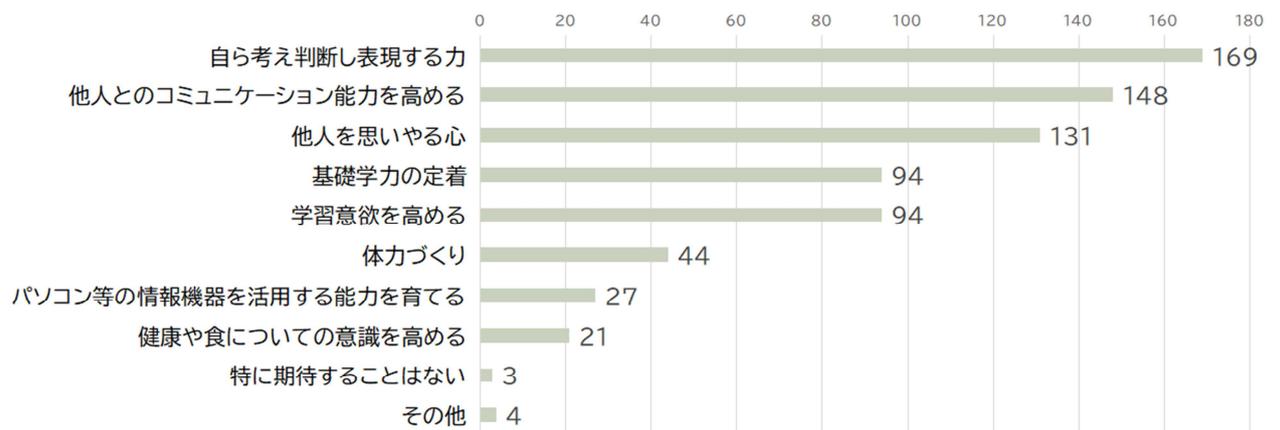


【区立幼稚園】

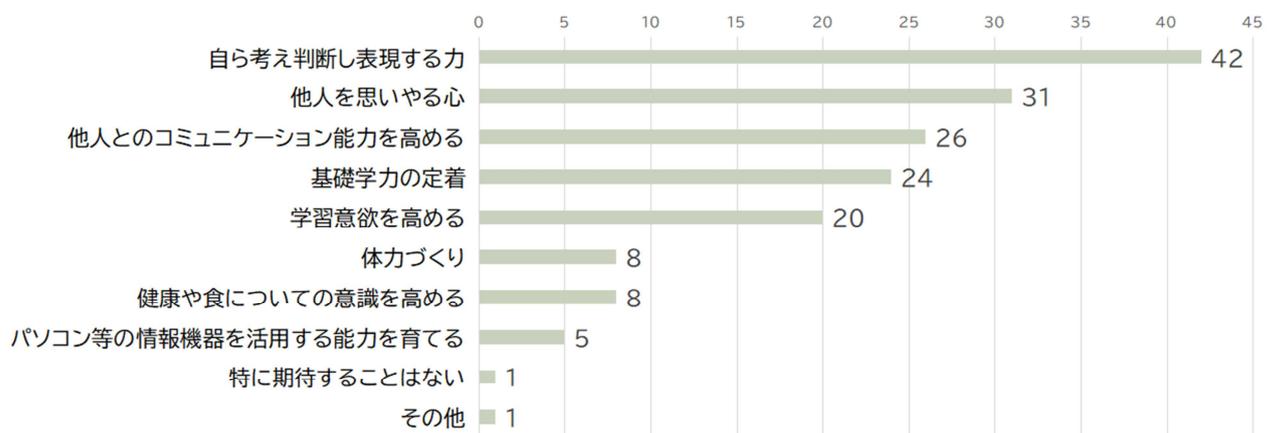


Q18 これから入学する小学校では、お子さんの教育についてどのようなことに重点をおいてほしいと思いますか(あてはまるものに最大3つまでチェックしてください)

【区立保育園】



【区立幼稚園】

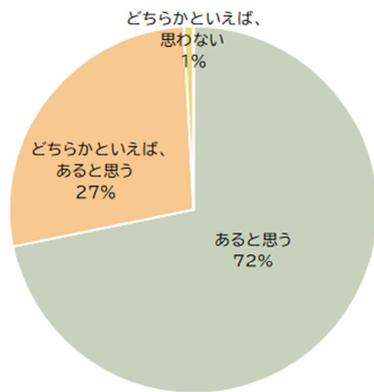


その他(自由記述)

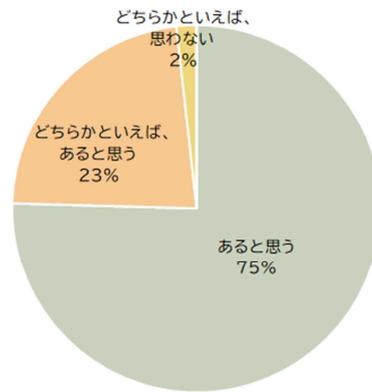
◆経営、お金の仕組みなど◆古臭いルールや型にはめようとして、子供が興味があり伸ばしたいことや学習意欲の邪魔しないしてほしい◆自己肯定感を育む教育◆自然との触れあいを通じた感性の育成
◆住んでいる地域の小学校は中学受験率が高く、高学年では受験をしている子と受験しない子との学習経験の差が気になります。中学受験をする子たちの受験ストレスで学級崩壊が起きるのをおそれるあまり、受験しない子達の学習がおざなりになっていると感じます。形だけの補充授業をやるだけでなく、受験しない子達の学習習慣の確立等をきちんと図ってほしい

Q19 乳幼児期にお子さんと過ごす時間を大切にし、家族の絆を深める機会がありますか

【区立保育園】

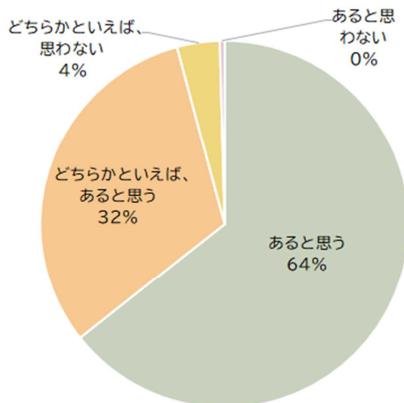


【区立幼稚園】

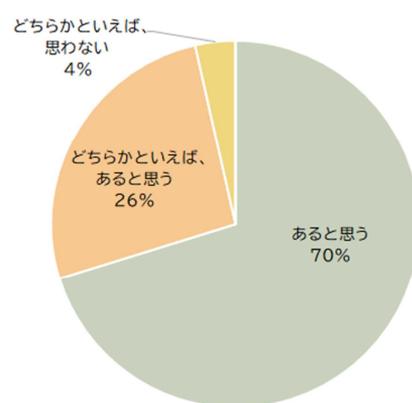


Q20 絵本の読み聞かせや乳幼児期からの運動遊びなど、お子さんとふれあう機会がありますか

【区立保育園】

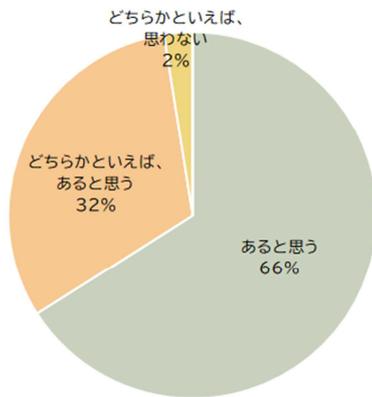


【区立幼稚園】

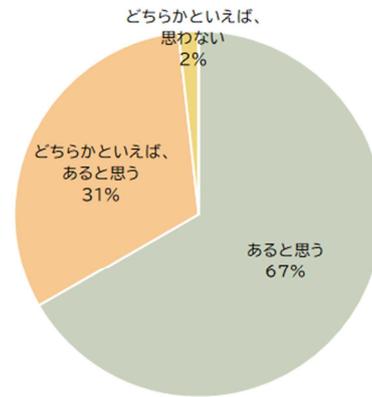


Q21 基本的な生活習慣をきちんと伝える機会がありますか(乳幼児期にあいさつや決まりを守ることなど)

【区立保育園】

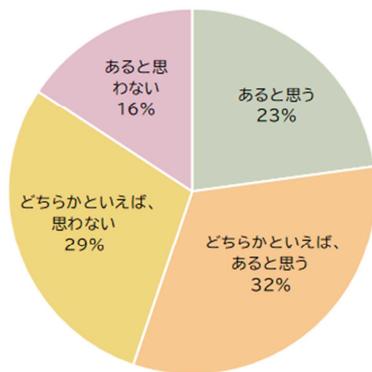


【区立幼稚園】

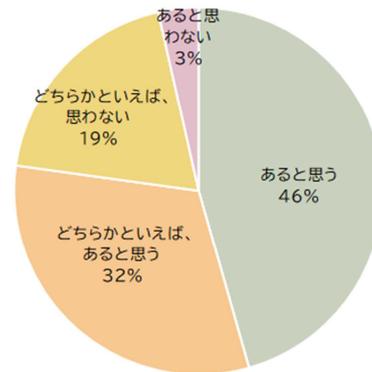


Q22 障害のある子どもに対する理解を深め、障害の有無に関わらず共に生きることを考える機会がありますか

【区立保育園】

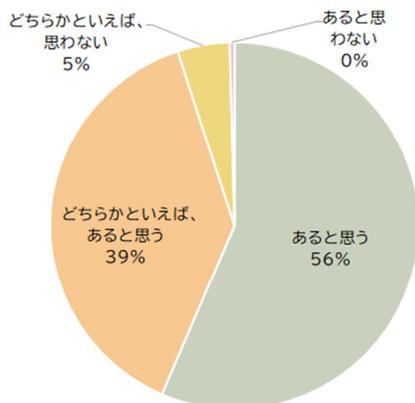


【区立幼稚園】

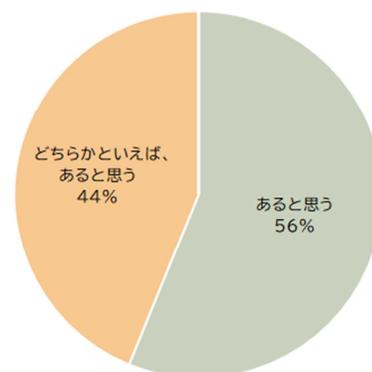


Q23 人に迷惑をかけないことや誰に対しても思いやりを持って接すること、社会のルールやマナーを守ることの大切さを伝える機会がありますか

【区立保育園】

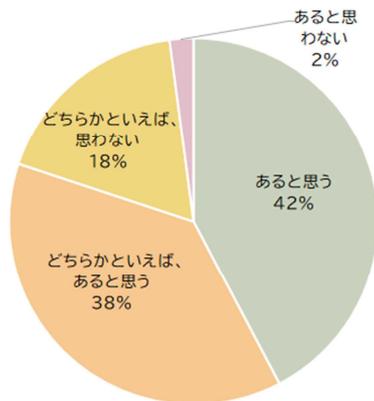


【区立幼稚園】

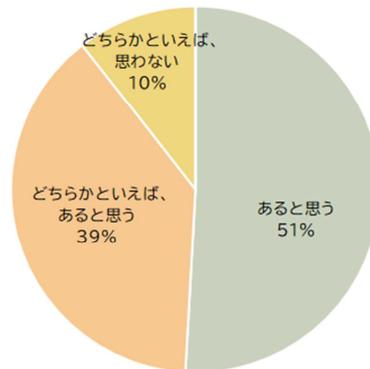


Q24 家庭の中において、お子さんに自分の役割をもたせる機会はありますか

【区立保育園】

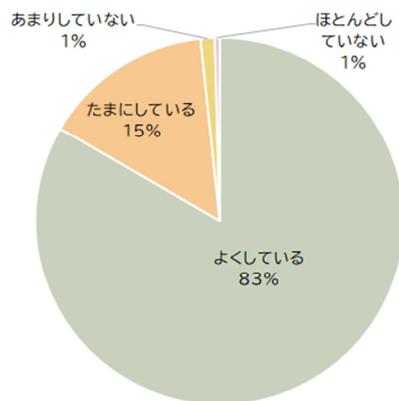


【区立幼稚園】

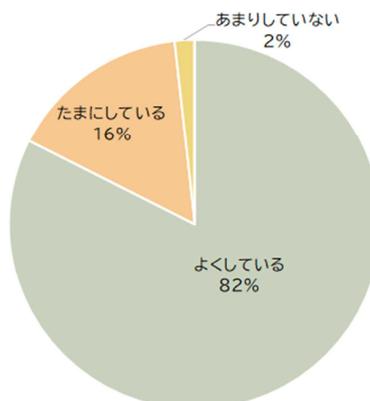


Q25 基本的な生活習慣、食習慣を身につけさせていますか(朝食を毎日きちんと食べる、夜更かしをしない、手洗いをきちんとする、歯を正しく磨くなど)

【区立保育園】

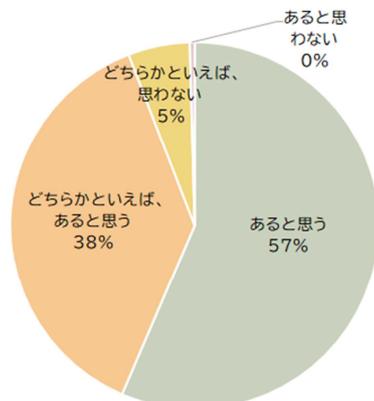


【区立幼稚園】

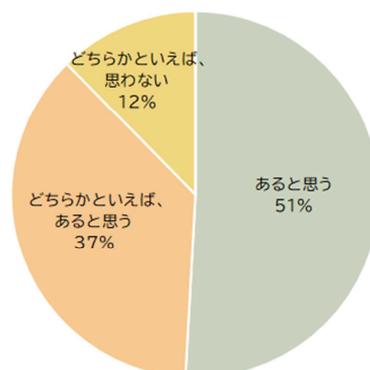


Q26 お子さんと一緒に歩いたり、外で体を動かしたりするなど、お子さんが日常生活の中で運動する機会はありますか

【区立保育園】

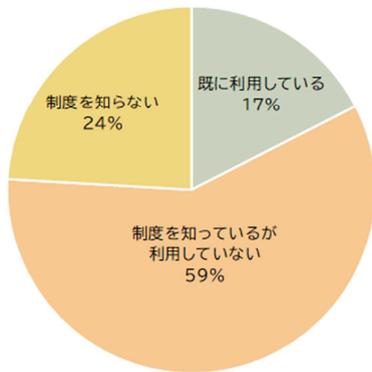


【区立幼稚園】

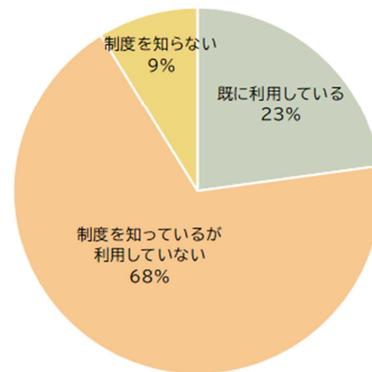


Q27 発達の遅れなど支援を要する子どもについての教育(就学)相談は、就学前の早い段階からの相談もできることを知っていますか

【区立保育園】

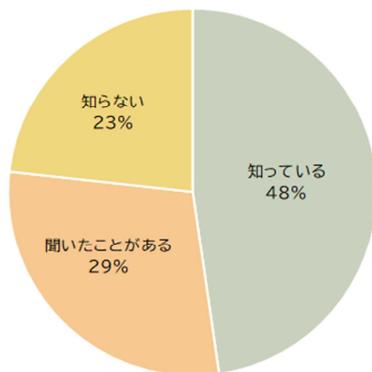


【区立幼稚園】

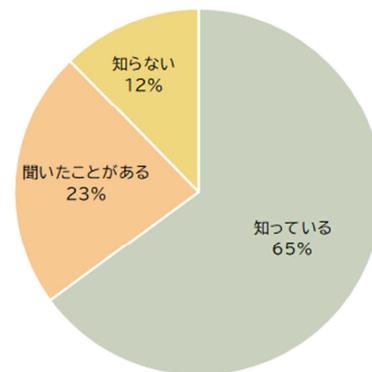


Q28 お子さんの発達状況について不安等がある場合、そのことを相談する所を知っていますか

【区立保育園】

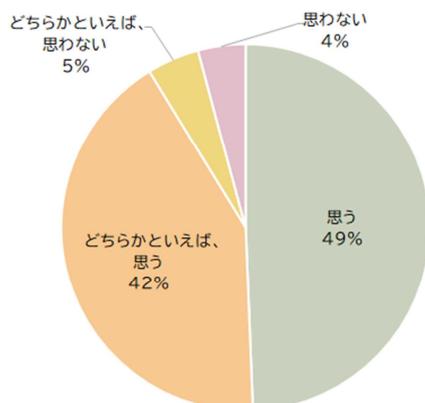


【区立幼稚園】

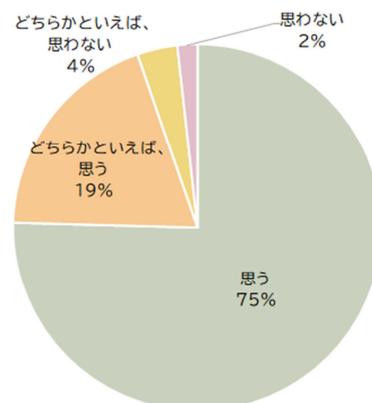


Q29 通園中の保育園、幼稚園では、子ども一人ひとりの特性や発育・発達状況に応じた適切な配慮(サポート)がされていると感じますか

【区立保育園】



【区立幼稚園】



(備考)

グラフの「0%」は、回答数が1以上あるものの、割合が1%に満たないものです。